

## 平成 30 年度の各専門部会の取組み事項

### (1) 農産物等研究専門部会..... 1

- 農 1 -大学と農家の意見交換会の開催
- 農 2-アスパラガスの新たな栽培方法「採りっきり栽培」の実施  
(地域連携による農産物づくりの検討等)
- 農 3-農産物に関する講習会の開催
- 農 4-地元農業者との農産物加工品等に関する研究
- 農 5-黒川野菜・果実等の PR (農家による黒川野菜の直売の実施)

### (2) 地域活性化検討専門部会.....11

- 地 1 -サイン・散策マップの検討・試行
- 地 2-里山景観づくりの検討・試行
- 地 3-HP 等による取り組み紹介とイベント PR
- 地 4-グリーンツーリズム
- 地 5- <地域農産物等の活用> 菜の花プロジェクト
- 地 6-里山アート制作と展示

### (3) 里地里山保全利活用専門部会.....25

- 里 1 - <里山の利活用> 竹あんどんづくり
- 里 2- <里山の保全管理> 里山保全活動体験

## (1) 農産物等研究専門部会

### 農-1 大学と農家の意見交換会の開催

#### (大学と地元農業者の相互の取組みに関する情報交換)

##### ■ 計画概要

概要・目的		<b>概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農業者を対象に、明治大学黒川農場の見学会を実施し、大学の教職員に施設や大学の取組み、研究内容等について紹介を行う。</li> <li>・大学と地元農業者の相互の取組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる。</li> </ul>
		<b>目的</b> <p>【地域交流】明治大学黒川農場での取組み等を紹介してもらおう見学会を実施し、地元農業者と大学関係者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】黒川産の農産物の販売促進のため、地元農業者と大学が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
実施体制、対象者等		対 象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課
実施内容	実施日	1月24日(木)：意見交換会
	実施場所	明治大学黒川農場・黒川公会堂・緑農会館
	周知・PR	—
	内容	① 明治大学黒川農場の施設紹介 ・黒川農場の施設を紹介。 ② 研究活動内容や研究成果の紹介 ・黒川農場で行っている研究や取組みの紹介 ③ 明治大学教員と地元農業者による意見交換 ・今後の、農産物等の生産に関する連携等について
予算等		—
その他		・今後も大学と農家の意見交換の場を検討してく。

## ■実施結果

実施概要	実施日時	平成 30 年 1 月 24 日（木） 実施
	実施場所	緑農会館
	参加者数	黒川農業者 12 人、関係者 7 人
実施状況 (写真等)	<p>明治大大学との意見交換会は開催されなかったが、地元意見交換の中で大学との連携について話し合われた。</p>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明大の先生が気温等を測っている。どんな研究をしているか知りたい。データも地元に戻元してほしい。</li> </ul>	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<p>収穫祭当日に黒川農場の施設を地元農業者に紹介する検討を行ったが実現できなかった。今後も引き続き、大学と地元農業者の情報交換の場の実現に向けて検討を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげていきたい。</p>	
その他	-	

## 農-2 アスパラガスの新たな栽培方法「採りつきり栽培」の実施 (地域連携による農産物づくりの検討等)

### ■計画概要

<b>概要・目的</b>		<p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ホーラーを使用し、一作で採りきる「採りつきり栽培」の展示ほ場を作り、栽培講習会を行うなどし、新たな特産物・収穫体験としての可能性を検討する。</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <p>【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】地元農業者と大学が農産物の新たな栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
<b>実施体制、対象者等</b>		<p>対 象：地元農業者、明治大学</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
<b>実施内容</b>	<b>実施（予定）日</b>	<p>平成 30 年 巡回検討会 6月8日、6月25日、7月9日、8月3日、8月21日、9月5日、10月2日、11月21日、1月17日、2月19日、3月12日実施</p> <p>平成 30 年 栽培の振り返り 9月7日 実施</p> <p>平成 30 年 災害被害状況の比較などの講習会 12月13日 実施</p>
	<b>実施場所</b>	<p>黒川地区全域（展示ほ場・生産者ほ場）</p> <p>明治大学生田キャンパス</p>
	<b>周知・PR</b>	<p>黒川生産支部回覧板</p>
	<b>内容</b>	<p>① 栽培講習会の実施</p> <p>② 展示ほ場設置、栽培実習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川地区に展示ほ場を設置し、栽培を実習できる機会を設ける。</li> <li>・アスパラガスの苗を地元農業者に配布し、自ら実際に栽培管理を行う。</li> </ul>
	<b>予算等</b>	<p>—</p>
<b>その他</b>		<p>—</p>

## ■実施結果

実施概要	実施日時	平成30年6月8日、6月25日、7月9日、8月3日、8月21日、9月5日、10月2日、11月21日、1月17日、2月19日、3月12日実施
	実施場所	黒川地区全域（展示ほ場・黒川上地区）
	参加者数	—
実施状況 (写真等)	<p>〔明大農学部 元木悟准教授、川崎市都市農業振興センター職員対応〕</p> <p>平成30年6月8日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成30年6月25日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成30年7月9日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成30年8月3日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成30年8月21日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成30年9月5日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成30年10月2日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成30年11月21日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成31年1月17日 生育状況を確認。肥培管理・防除等を指導          平成31年2月19日 調査分析のための土壌の採取。          平成31年3月12日 苗の配布。</p> 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の台風の後、他作物への対応が忙しく、アスパラガスの防除が遅れ病気が出てしまった。</li> <li>・次作は栽培面積を広げたい。</li> <li>・次作の栽培は見合わせる。</li> <li>・次作は色々な品種を栽培し、品種特性、収量等を比較したい</li> </ul>	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	平成31年3月～4月の収穫に向けて技術指導及び収量調査を行う。 次年度以降の技術指導については要検討。	
その他	—	

## 農-3 農産物に関する講習会の開催

### ■ 計画概要

概要・目的		<b>概要</b> ・品種比較、土づくり、防除等栽培に役立つ講習会を、大学と連携して開催する。
		<b>目的</b> 【地域交流】 明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。 【環境保全】 農薬を効果的に使う方法を学ぶことで、環境にやさしい農業の実現を目指す。
実施体制、対象者等		対 象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課
実施内容	実施予定日	平成 30 年 栽培の振り返り 9月7日 実施 平成 30 年 災害被害状況の比較などの講習会 12月13日 実施
	実施場所	明治大学黒川農場 明治大学生田キャンパス
	周知・PR	黒川生産支部回覧板
	内容	① 講習会の開催
	予算等	—
その他		・今後も内容を検討して、講習会の実施を検討する。

## ■実施結果

<b>実施概要</b>	<b>実施日時</b>	平成 30 年 9 月 7 日、12 月 13 日
	<b>実施場所</b>	黒川公会堂・明治大学生田キャンパス
	<b>参加者数</b>	9 月 7 日 28 人 12 月 13 日 19 人 (市、JA)
<b>実施状況 (写真等)</b>	<p>平成 30 年 9 月 7 日 栽培講習会・意見交換会            参加者：黒川農業者 14 人、関係者 14 人            会場：黒川公会堂            講師：元木悟(明大農学部准教授)、学生            川崎智弘(種苗会社担当)、</p> <p>平成 30 年 12 月 13 日 栽培講習会            参加者：関係者 19 人            講師 元木悟(明大農学部准教授)、学生</p>	
<b>主催者や参加者の声 (主な意見、感想)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病害虫の特定、対応方法等を知ることができた。</li> <li>・深植えは、台風の対策にもつながることが分かった。</li> <li>・定植時期の違いが、生育に影響することが分かった。</li> </ul>	
<b>評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も内容を検討して、講習会の実施を検討する。</li> </ul>	
<b>その他</b>	—	

## 農-4 地元農業者との農産加工品等に関する検討

### ■ 計画概要

<p>概要・目的</p>	<p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う。</li> <li>・黒川地域の加工品を PR する。</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <p>【地域交流】 明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【黒川産商品開発】 黒川地域の活性化に向けて、黒川産の農産加工品の開発を検討する。</p>										
<p>実施体制、対象者等</p>	<p>対象：地元農業者、明治大学          協力：神奈川県、JAセレサ川崎          事務局：川崎市農地課</p>										
<p>実施内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="284 981 475 1048"> <p>実施予定日</p> </td> <td data-bbox="475 981 1414 1048"> <p>11月10日（土）収穫祭 加工品のPR</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1048 475 1115"> <p>実施場所</p> </td> <td data-bbox="475 1048 1414 1115"> <p>明治大学黒川農場</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1115 475 1182"> <p>周知・PR</p> </td> <td data-bbox="475 1115 1414 1182"> <p>—</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1182 475 1659"> <p>内容</p> </td> <td data-bbox="475 1182 1414 1659"> <p>農産物の加工品について全国的に優れた技術を持っている明治大学黒川農場の客員教授である小清水先生と地元農業者との意見交換を実施する。また、黒川産野菜で作った加工品について、JAセレサ川崎と連携しながら収穫祭でPRする。</p> <p>①現在の黒川産の農産加工品について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川産の農産加工品の現状や課題等に関する意見交換やPRの実施。</li> </ul> <p>②今後の開発の可能性やメニューについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の農産物加工品の開発の可能性や、やってみたいメニューについて意見交換し、試作の検討。</li> </ul> <p>③今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進め方等に関する意見交換</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1659 475 1727"> <p>予算等</p> </td> <td data-bbox="475 1659 1414 1727"> <p>—</p> </td> </tr> </table>	<p>実施予定日</p>	<p>11月10日（土）収穫祭 加工品のPR</p>	<p>実施場所</p>	<p>明治大学黒川農場</p>	<p>周知・PR</p>	<p>—</p>	<p>内容</p>	<p>農産物の加工品について全国的に優れた技術を持っている明治大学黒川農場の客員教授である小清水先生と地元農業者との意見交換を実施する。また、黒川産野菜で作った加工品について、JAセレサ川崎と連携しながら収穫祭でPRする。</p> <p>①現在の黒川産の農産加工品について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川産の農産加工品の現状や課題等に関する意見交換やPRの実施。</li> </ul> <p>②今後の開発の可能性やメニューについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の農産物加工品の開発の可能性や、やってみたいメニューについて意見交換し、試作の検討。</li> </ul> <p>③今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進め方等に関する意見交換</li> </ul>	<p>予算等</p>	<p>—</p>
<p>実施予定日</p>	<p>11月10日（土）収穫祭 加工品のPR</p>										
<p>実施場所</p>	<p>明治大学黒川農場</p>										
<p>周知・PR</p>	<p>—</p>										
<p>内容</p>	<p>農産物の加工品について全国的に優れた技術を持っている明治大学黒川農場の客員教授である小清水先生と地元農業者との意見交換を実施する。また、黒川産野菜で作った加工品について、JAセレサ川崎と連携しながら収穫祭でPRする。</p> <p>①現在の黒川産の農産加工品について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川産の農産加工品の現状や課題等に関する意見交換やPRの実施。</li> </ul> <p>②今後の開発の可能性やメニューについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の農産物加工品の開発の可能性や、やってみたいメニューについて意見交換し、試作の検討。</li> </ul> <p>③今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進め方等に関する意見交換</li> </ul>										
<p>予算等</p>	<p>—</p>										
<p>その他</p>	<p>—</p>										



## ■実施結果





<b>実施概要</b>	<b>実施日時</b>	平成 30 年 11 月 10 日 (土)
	<b>実施場所</b>	明治大学黒川農場
	<b>参加者数</b>	—
<b>実施状況 (写真等)</b>	<p>平成 30 年 11 月 10 日に開催された明治大学黒川農場収穫祭にて、ジャム等の販売を通して、農産加工品の P R を行った。 購入者には「セレスモス」で使用できる、ソフトクリーム割引券を配布し、「セレスモス」の周知や、誘引を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>■農産加工品の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うめぼし、あんぼ柿</li> <li>・ジャム (リンゴ、トマト、ウメ、アズ、ブルーベリーetc)</li> </ul>	
<b>主催者や参加者の声 (主な意見、感想)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「セレスモス」と協力し販売を行い、加工品の P R ができたと感じる。</li> <li>・黒川農場も加工品を販売していた。両者がともに P R できればより良いと感じた。</li> </ul>	
<b>評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品の P R については他の取り組みと統合し実施していく。</li> </ul>	
<b>その他</b>		

## 農-5 黒川野菜・果物等のPR（農家による黒川野菜の直売の実施）

### ■ 計画概要

<b>概要・目的</b>		<p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治大学黒川農場の収穫祭で、大学と地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う。</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <p>【黒川農産物のPR】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の新鮮な農産物をPRし、販売促進につなげる。</p> <p>【地域交流】「実際に野菜をつくっている方達と直接話をする機会があった」という意見が前回の収穫祭ででていたため、地元農業者が直接販売する機会を創ることで、市民と地元農業者との交流を図る。</p>		
<b>実施体制、対象者等</b>		<p>協力：明治大学</p> <p>対象：明治大学黒川農場収穫祭の来場者</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>		
<b>実施内容</b>	<b>実施予定日</b>	平成 30 年 11 月 10 日（土）収穫祭		
	<b>実施場所</b>	明治大学黒川農場		
	<b>周知・PR</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政だより</li> <li>・ 明治大学収穫祭告知チラシ</li> <li>・ HP等</li> </ul>		
	<b>内容</b>	<p>収穫祭にて「農家さんの黒川産農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売</p> <p>■ 農産物の種類 昨年度実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大根</li> <li>・ かぶ</li> <li>・ きゅうり</li> <li>・ 原木しいたけ</li> <li>・ ピーマン</li> <li>・ 里芋</li> <li>・ ブロッコリー</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次郎柿</li> <li>・ 本ゆず</li> <li>・ キウイフルーツ</li> <li>・ たまご</li> <li>・ サツマ芋</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>(平成 27 年度：14 品目 660 点)  (平成 28 年度：13 品目 300 点以上)  (平成 29 年度：12 品目 250 点以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大根</li> <li>・ かぶ</li> <li>・ きゅうり</li> <li>・ 原木しいたけ</li> <li>・ ピーマン</li> <li>・ 里芋</li> <li>・ ブロッコリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次郎柿</li> <li>・ 本ゆず</li> <li>・ キウイフルーツ</li> <li>・ たまご</li> <li>・ サツマ芋</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大根</li> <li>・ かぶ</li> <li>・ きゅうり</li> <li>・ 原木しいたけ</li> <li>・ ピーマン</li> <li>・ 里芋</li> <li>・ ブロッコリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次郎柿</li> <li>・ 本ゆず</li> <li>・ キウイフルーツ</li> <li>・ たまご</li> <li>・ サツマ芋</li> </ul>		
<b>予算等</b>	-			
<b>その他</b>		-		

## ■実施結果

<b>実施概要</b>	<b>実施日時</b>	平成 30 年 11 月 10 日 (土)
	<b>実施場所</b>	明治大学黒川農場
	<b>参加者数</b>	6 人(地元農業者 5 人、都市農業振興センター農地課職員 1 人)
<b>実施状況 (写真等)</b>	<p>平成 30 年 11 月 10 日に開催された明治大学黒川農場収穫祭にて、「農家さんの黒川産農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売をした。</p> <p>収穫祭来場者人 1,557 人 (前年度 1,786 人) 前年比 87%</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>■農産物の種類 (平成 30 年度) 主なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・ニンジン</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・次郎柿</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・ダイコン</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・キウイフルーツ</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・キュウリ</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・本ユズ</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・サツマイモ</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・タマゴ</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・サトイモ</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・シュンギク</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・コマツナ</li> <li style="display: inline-block; width: 45%;">・ネギ</li> </ul>	
<b>主催者や参加者の声 (主な意見、感想)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に調整を行ったが、農場内の収穫体験の野菜と重複が一部見られた。</li> <li>・前回より終了時間が 1 時間早く、来場者も少なかったが、売れ行きは好評だった。</li> </ul>	
<b>評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回で 5 回目の参加。今後も継続して参加することで、黒川産の新鮮な農産物を P R し、販売促進につなげる。</li> </ul>	
<b>その他</b>	—	

## (2) 地域活性化検討専門部会

### 地-1 サイン・散策マップの検討・試行

#### ■ 計画概要

<p><b>概要・目的</b></p>	<p><b>概要</b> ・散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども含めたサインの検討・試行を行う。(里地里山保全利活用専門部会と連携)</p> <p><b>目的</b> 【散策環境の向上】来訪者が快適に散策できたり、目的地へ円滑にたどりつける環境を確保すること 【マナーアップ】ゴミのポイ捨てや農地の無断立ち入りなど注意喚起をして、来訪者のマナー向上を促すこと 【地場材の活用】黒川地域の竹や樹木などの利活用を促す。</p>
<p><b>実施体制、対象者等</b></p>	<p>担当：麻生区役所、和光大学（制作：和光大学教員と学生） 協力：地元農業者、小田急電鉄、セレスモス 対象者：黒川地域の来訪者</p>
<p><b>実施内容</b></p>	<p><b>実施予定日</b> 平成30年11月9日（金）～11月18日（日）</p>
	<p><b>実施場所</b> 黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 &lt;黒川駅～汁守神社～セレスモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場&gt;</p>
	<p><b>周知・PR</b> 散策マップの配布（黒川駅、セレスモス、町会回覧等）</p>
	<p><b>内容</b></p> <p>①サインの設置 サインの制作に当たっては、里地里山保全利活用専門部会とも連携していく。 ・総合案内サイン（黒川駅から明治大学黒川農場までの全体マップ） ・誘導サイン（散策ルートの誘導のためのサイン） ・位置サイン（里山アートの紹介サイン）</p> <p>②散策マップ ・「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みのPRや里山アートの設置場所の紹介なども併せて、暫定版の散策マップを配布する。</p>
	<p><b>予算等</b> サイン、散策マップの制作費</p>
<p><b>その他</b></p>	<p>—</p>

## ■実施結果

実施概要	実施日時	平成 30 年 11 月 9 日 (金) ~11 月 18 日 (日)
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅~セレスモス~農業用倉庫~広町緑地~明治大学黒川農場>
	参加者数	アート鑑賞者：約 1,000 名 (参考：収穫祭来場者 1,557 名、マイクロバス使用者及び、入口カウントより算出)
実施状況 (写真等)	<p>① 総合案内 (黒川駅前)</p>  <p>② 里山アート作品の紹介</p>  <p>③ 誘導・注意喚起サイン (黒川駅前~明治大学黒川農場周辺)</p>   <p>④ 散策ルートマップ (2,000 部)</p>  	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誘導サインは、歩くモチベーションにもなるとの意見があった。</li> </ul>	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント実施の看板に、来訪者のみならず地元の方も足を止める人が多く見受けられた。</li> <li>・ 今後もイベント実施に合わせたサイン設置を検討する。</li> </ul>	
その他	—	

## 地-2 里山景観づくりの検討・試行

### ■計画概要

<p style="text-align: center;"><b>概要・目的</b></p>	<p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川地域の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地に菜の花等季節の草花を植える「里山の景観づくり」の検討・試行を行う。</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <p>【散策環境の向上】来訪者が黒川の自然を楽しみながら散策できる景観を形成する。</p> <p>【認知促進】里山環境に適した花景観を創出することで、黒川の新たな魅力として PR し、都市の中で貴重な環境が残っている現状を多くの人に伝える。</p>	
<p style="text-align: center;"><b>実施体制、対象者等</b></p>	<p>担当：麻生区役所  協力：地元農業者等  対象者：黒川地域の来訪者</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; text-align: center;"><b>実施内容</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>実施予定日</b></p>	<p>収穫祭でのアンケート：平成 30 年 11 月 10 日（土）</p>
	<p style="text-align: center;"><b>実施場所</b></p>	<p>黒川海道特別緑地保全地区ほか 黒川地域  アンケート：明治大学黒川農場 本館 1 階会議室</p>
	<p style="text-align: center;"><b>周知・PR</b></p>	<p>—</p>
	<p style="text-align: center;"><b>内容</b></p>	<p>① アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川への来訪者に黒川の風景に対するアンケートを行う。</li> </ul> <p>② 今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の風景と調和した花の景観を形成するため、農作業への影響を考慮しつつ、実施を検討する。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;"><b>予算等</b></p>	<p>アンケート回答者へのノベルティ制作費</p>
<p style="text-align: center;"><b>その他</b></p>	<p>—</p>	

## ■実施結果

実施概要	実施日時	平成 30 年 11 月 10 日 (土)
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	約 160 名 (457 件 (1 名 3 つのシールにより投票))
実施状況 (写真等)	<p>平成 30 年 11 月 10 日に開催された明治大学黒川農場収穫祭にて、「あなたの好きな黒川の風景」として、黒川地区の 5 つの風景から好きな風景を選んでもらうアンケートを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場の様子</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートパネル</li> <li>・ 黒川の風景を用いたノベルティ</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒川の風景に好感を持っている人が多かった。</li> <li>・ 改めて、黒川の風景を認識してもらうことにより、黒川の魅力を PR することができた。</li> <li>・ アンケート回答者に配布した「黒川の風景」のポストカードが好評であった。</li> <li>・ アンケート結果では、よこやまの道の人気が高く、特に女性からの人気が高かった。</li> </ul>	
評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒川来訪者の黒川の風景に対する印象の傾向を知ることができた。</li> <li>・ 今後は、黒川の里山・農地・竹林等の魅力ある風景を区ホームページ等で PR していく。</li> </ul>	
その他	-	

## 地-3 HP 等による取り組み紹介とイベントPR

### ■ 計画概要

<b>概要・目的</b>		<p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農と環境のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実</li> <li>・ホームページの更新充実、収穫祭時での紹介パネルの作成、各種取り組みでのアンケートを実施</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <p>【取り組みのPR・情報発信】 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>【担い手づくり】 「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みやイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行い、取り組みに賛同し、活動に協力してくれる担い手づくりにつなげる。</p>
<b>実施体制、対象者等</b>		<p>担当：麻生区役所 アンケート対象者：収穫祭来場者</p>
<b>実施内容</b>	<b>実施予定日</b>	<p>収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成30年11月10日（土） ホームページ：随時更新</p>
	<b>実施場所</b>	<p>パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場 本館1階会議室</p>
	<b>周知・PR</b>	<p>麻生区ホームページ（インターネット）</p>
	<b>内容</b>	<p>① 取り組みの紹介とPR 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>② イベントの参加募集と活動報告 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連したイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行う。</p> <p>③ イベントアンケート調査 来場者に向け、農と環境を活かしたまちづくりに関するアンケート調査を行う</p>
	<b>予算等</b>	<p>アンケート印刷費、パネル印刷費</p>
<b>その他</b>		<p>－</p>



## ■実施結果

実施概要	実施日時	収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成 30 年 11 月 10 日（土） ホームページ：随時更新
	実施場所	パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場 本館 1 階会議室
	参加者数	収穫祭アンケート 169 件 （昨年 183 件）
実施状況 (写真等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫祭におけるパネル展示、アンケートを行った。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・高津ノクティでのパネル展示、区役所ロビー内でのセレスモス出張販売イベントに合わせたパネル展示を行った。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生区ホームページにおいて「農と環境を活かしたまちづくり」として情報を発信した。</li> </ul> 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫体験や料理体験、野菜作り体験、リースづくりなど、体験イベントの開催への要望が多かった。</li> <li>・情報発信への要望が見られた。</li> <li>・取り組みの継続への要望が見られた。</li> </ul>	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果から、農と環境の取り組みの認知度が 26.0%と、昨年度からほぼ横ばいである。（H29：26.8、H28：22.8%）</li> <li>・引き続き様々な広報媒体を活用し、取り組みの周知に努める。</li> </ul>	
その他	—	

## 地-4-1 <グリーンツーリズム>

### 農場野菜&ブルーベリー収穫体験の実施

#### ■ 計画概要

<b>概要・目的</b>		<p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子（子どもは小学生3～6年生）を対象に、黒川地域の散策、収穫体験や座談会を通じて黒川地区の魅力を発見するイベントを実施</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <p>再び家族で黒川に来てもらいたい、という目的・主題とする。</p> <p>【農体験によるPR】</p> <p>黒川産の野菜や果物のPR。参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。</p> <p>【参加者以外へのPR】</p> <p>子どもに黒川の風景や収穫体験時の絵を描いてもらい、後日セレサモスに張り出すことで、地元やセレサモス来訪者へ周知する。</p>
<b>実施体制、対象者等</b>		<p>担当：麻生区役所</p> <p>協力：明治大学黒川農場、セレサモス、川崎市農業振興センター農地課</p> <p>対象者：川崎市在住・在学の親子（子どもは小学生3～6年生）</p>
<b>実施内容</b>	<b>実施予定日</b>	<p>平成30年7月21日（土）9：00～12：30</p> <p>9:00 農業用管理倉庫前集合</p>
	<b>実施場所</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルーベリーの収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑</li> <li>野菜の収穫体験・見学：明治大学黒川農場</li> <li>座談会（アンケート）＆子どものお絵かき：明治大学黒川農場</li> </ul>
	<b>周知・PR</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>麻生区ホームページ内での告知</li> <li>チラシの配布（区役所・市民館・図書館での配架、イオン掲示板、近隣小学校児童への配布など）</li> </ul>
	<b>内容</b>	<p>① ブルーベリーの収穫体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川崎市が借りているブルーベリー畑にて、ブルーベリーの収穫体験をしてもらう。</li> </ul> <p>② 野菜の収穫体験・見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明治大学黒川農場の見学とともに、圃場にて野菜の収穫体験をしてもらう。（主な作物：トマト、ナス、ピーマン、インゲン、バジル）</li> </ul> <p>③ 座談会（アンケート調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者に対し、今後の農と環境への効果的な取組み提案の参考とするためのアンケートを行うとともに、子どもに対し、黒川の風景や収穫体験時の絵を描いてもらう。</li> </ul>
	<b>予算等</b>	参加費無料
<b>その他</b>		-

## ■実施結果

実施概要	実施日時	平成 30 年 7 月 21 日 (土) 9:00~12:30
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーベリーの収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑</li> <li>・野菜の収穫体験・見学：明治大学黒川農場</li> <li>・座談会（アンケート）＆子どものお絵かき：明治大学黒川農場</li> </ul>
	参加者数	参加者数 14 組 28 人（子ども：14 名、保護者：14 名） 申込者数 111 組 222 人（子ども：111 名、保護者：111 名） ※小学 3~6 年生とその保護者
実施状況 (写真等)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">9:00 農業用管理倉庫前</div> <div style="margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">9:20 ブルーベリー畑</div> <div style="margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           10:00 明治大学黒川農場到着            ・農場見学            ・野菜の収穫体験         </div> <div style="margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           11:00 黒川農場本館 2 階            ・座談会(アンケート記入)            ・お絵かき         </div> <div style="margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px;">12:30 セレサモスにて解散</div> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin-top: 10px;">     </div>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーの野菜売り場で見える野菜と違って、野菜のみずみずしさ、香り、触感を体感しながら収穫できた。</li> <li>・普段は野菜が好きではない子どもが、自分の収穫した野菜は食べたいと言っていてよかった。</li> <li>・収穫体験をする機会があまりないので、子どもにより経験をさせてあげることができた。</li> </ul>	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫できる量が多く、参加者の満足度が高かった。</li> <li>・子どものお絵かきをしたことによって、黒川に再来訪するきっかけを作ることができた。</li> <li>・地元農家の畑で収穫体験するなど、地元農家との連携を図る。</li> </ul>	
その他	—	

## 地-4-2 <グリーンツーリズム> ダイコンの収穫体験とピクルスづくり

### ■ 計画概要

概要・目的		<b>概要</b> ・市民の親子（子どもは小学生）を対象にダイコンの収穫体験と調理体験（ピクルス・ダイコン葉のふりかけ）を実施し、農への興味・関心を深める。
		<b>目的</b> <b>【農体験のPR】</b> 黒川産の野菜や果物のPR。参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。 対象は川崎市の小学生とその保護者とし、子ども世代と子育て世代（20～40代）へのアピールを行う。
実施体制、対象者等		担当：麻生区役所 協力：地元農業者、明治大学黒川農場 対象者：川崎市在住・在学・在勤の小学生とその保護者（1組2人）
実施内容	実施予定日	平成30年12月22日（土）
	実施場所	収穫体験：黒川地域内の畑 加工・試食：明治大学黒川農場
	周知・PR	・麻生区ホームページ内での告知 ・チラシの配布（区役所・市民館・図書館での配架、イオン掲示板、近隣小学校児童への配布など）
	内容	① ダイコンの収穫体験 ・地元農業者（坂本氏）の畑にて、ダイコンの収穫体験をしてもらう。 ② ピクルスづくり ・明治大学黒川農場にて、小清水客員教授の指導により、加工品（ピクルス・ダイコン葉のふりかけ）づくりを行い、ご飯と一緒に試食してもらう。
	予算等	参加費 400円
その他		

## ■実施結果


実施概要	実施日時	平成 30 年 12 月 22 日 (土) 9:15~12:15
	実施場所	収穫体験：黒川地域内の畑 加工・試食：明治大学黒川農場
	参加者数	参加者数 13 組 26 人 (子ども：13 名、保護者：13 名) 申込者数 34 組 68 人 (子ども：34 名、保護者：34 名) ※小学生とその保護者
実施状況 (写真等)	<p>9:15 農業用管理倉庫前</p> <p>9:35 収穫体験</p> <p>10:30 黒川農場調理室 ・ピクルスづくり ・ダイコン葉のふりかけづくり</p> <p>11:45 黒川農場本館 2 階 ・試食 ・アンケート記入</p> <p>12:15 黒川農場にて解散</p>	    
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治大学の農場に初めて来た。大学内が見ることができてよかった。</li> <li>・子どもは、普段あまり野菜を食べないのに、たくさん食べていた。</li> </ul>	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでは、参加者全員が「満足」と回答し、収穫体験、加工食品づくりともに、参加者の満足度が高かった。</li> <li>・引き続き、地元農家との連携を図った取り組みを実施する。</li> </ul>	
その他	-	

## 地-5 <地域農産物等の活用>菜の花プロジェクト

### ■計画概要

<p style="text-align: center;"><b>概要・目的</b></p>	<p><u>菜の花プロジェクトの概要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菜の花プロジェクトは、「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花を栽培し、その油の利用と、廃油の資源化によるバイオマス資源の地域循環を目指している。</li> <li>・平成26年度から明治大学黒川農場の協力により圃場の一部（約2a）にナタネを播種、収穫、菜種油を製造している。平成30年度も継続し、6月収穫、10月に種蒔きを実施。</li> <li>・また、製造した菜種油を使用し、麻生区内の店舗と協働開発したクッキーやパンを、明治大学黒川農場収穫祭で販売し、活動のPRを図る。</li> </ul> <p><u>菜の花プロジェクトの目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕地の活用や里山景観の魅力向上のため</li> <li>・地元農産物の活用した加工品開発</li> <li>・里地里山を活用して資源循環の仕組みを考えていくため</li> </ul>	
<p style="text-align: center;"><b>実施体制、対象者等</b></p>	<p>主催：明治大学黒川農場、地元農業者、地元店舗、かわさきかえるプロジェクト（市民団体）等          協力：麻生区役所</p>	
<p style="text-align: center;"><b>実施内容</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>実施予定日</b></p>	<p>菜の花の栽培：通年          商品の販売：平成30年11月10日（土） 収穫祭</p>
	<p style="text-align: center;"><b>実施場所</b></p>	<p>明治大学黒川農場等</p>
	<p style="text-align: center;"><b>周知・PR</b></p>	<p>収穫祭チラシ、市政だより、町内会回覧等</p>
	<p style="text-align: center;"><b>内容</b></p>	<p>① 地元店舗と協力し開発した商品（全粒粉クッキーなど）の販売による活動のPR          ② 旬の地場野菜を使用した親子料理教室の開催（2回実施）          ③ 地域内資源循環への理解を深めるための小学校環境教育プログラム・教材の活用</p>
<p style="text-align: center;"><b>予算等</b></p>	<p>—</p>	
<p style="text-align: center;"><b>その他</b></p>		

## ■実施結果

実施概要	実施日時	平成 30 年度
	実施場所	明治大学黒川農場ほか
	参加者数	—
実施状況 (写真等)	<p><b>地元店舗と協力し開発した商品の販売による活動の PR</b></p> <p>11 月 10 日の明治大学収穫祭で、クッキー・パン販売を行い、活動の取り組み状況の報告や地元店舗と協力し開発した商品の販売・PR を実施。</p>  <p><b>地産地消の親子料理教室</b></p> <p>7 月は台風の影響を考慮して中止とした。 2 月に親子料理教室を実施。</p> <p><b>域内資源循環への理解を深めるための 環境教育プログラム・教材の活用</b></p> <p>小学校環境教育プログラム・教材を活用し、金程小学生で授業を実施した。6 月収穫・10 月種まき。</p>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度の収穫量は約 50kg、搾油量は 15kg。</li> <li>・ボランティアは現在約 30 名</li> </ul>	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検 討事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も自立した団体活動を広報協力等で支援する。</li> </ul>	
その他	—	

## 地-6 里山アート制作と展示【サトヤマアートサンポ 2018】

### ■ 計画概要

概要・目的		<b>概要</b> 地区内の農と里山環境を活かした里山アート展示を試行的に実施 ・アーティストによる作品展示 ・里山アートをめぐるツアー
		<b>目的</b> 【地場材の活用】黒川地域の竹等を活用した作品を制作する。 【地域の魅力向上】黒川地域の里山にアート作品を展示することで、黒川地域の景観や里山の魅力のPRにつなげる。
実施体制、対象者等		主催：和光大学 制作：和光大学表現学部の学生、卒業生 協力：地元農業者、明治大学、小田急電鉄 事務局：麻生区役所
実施内容	実施予定日	・作品の展示：11月9日（金）～18日（日） ・ツアー実施：11月10日（土）10：00～11：30頃
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場の間
	周知・PR	・市政だより、麻生区役所ホームページ内での告知 ・チラシの配布 等
	内容	① 和光大学表現学部の学生の作品 ② 里山アートをめぐる散策ツアー
	予算等	製作費
その他		




## ■実施結果

実施概要	実施日時	平成 30 年 11 月 9 日 (金) ～11 月 18 日 (日)
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 〈黒川駅～セレスモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場〉
	参加者数	アート鑑賞者：約 1,000 名 (参考：収穫祭来場者 1,557 名 マイクロバス使用者及び、入口カウントより算出) ツアー参加者 15 名 (昨年度 18 名)
実施状況 (写真等)	<p>●アート作品展示 (合計 11 点)</p>     <p>●サトヤマアートサンポ 2018 ツアー (11/10)</p>  	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩しながらアート鑑賞ができ、とてもよかった。竹やぶの中の作品がとても印象的だった。</li> <li>・里山・田んぼと一体化していて面白かった。</li> </ul>	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを 26 人から集めることができ、8 割以上が「大変満足」「ほぼ満足」と回答。</li> <li>・地元の子ども会と連携した作品作りや、セレスモスでのアンケート回収など、地域に協力いただいた。</li> </ul>	
その他	—	

### (3) 里地里山保全利活用専門部会

#### 里-1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり

##### ■実施概要

<p><b>概要・目的</b></p>		<p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川地区の竹を活用し、地元小・中学生とともに、竹あんどんづくりを実施</li> <li>・地域のお祭りやイベントでも利用されている。</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【地場材の活用】黒川地域の緑地保全管理で伐採した竹材の活用</li> <li>【地域交流】竹行燈づくりによる地元の子供との交流</li> <li>【景観づくり】竹行燈を使った地域の魅力づくり</li> </ul>
<p><b>実施体制、対象者等</b></p>		<p>主催：川崎市みどりの協働推進課          協力：黒川竹行燈の会、明治大学          対象者：地元の小中学生（小学生は保護者同伴）</p>
<p><b>実施内容</b></p>	<p><b>実施日</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹行燈づくり：平成30年11月10日（土）収穫祭</li> </ul>
	<p><b>実施場所</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹の伐り出し：黒川地区内緑地</li> <li>・竹行燈づくり：農業用管理倉庫</li> </ul>
	<p><b>周知・PR</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市公園緑地協会の子供向けイベントでのチラシ配布【約50枚】</li> <li>・地域活性化検討部会のイベントでのチラシ配布【約30枚】</li> <li>・ふれあい動物園（高津区・宮前区・麻生区）でのチラシ配布【約100枚】</li> <li>・ラゾーナ川崎内後援イベントでのチラシ配布【約50枚】</li> <li>・市内各庁舎情報コーナーにチラシ配布【570枚】</li> <li>・黒川、はるひ野町内会内チラシ掲示・回覧【14枚】</li> <li>・市HP広報</li> <li>・麻生区ツイッター広報</li> <li>・農業振興課メルマガ広報</li> </ul> 
	<p><b>内容</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 竹行燈づくり（参加費無料）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の小中学生と竹行燈を作る。</li> <li>（制作した竹行燈は参加者が持ち帰る）</li> </ul> </li> <li>② 里地里山の保全活動に対する意向調査（保護者の方向け）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方向けに、里地里山の保全活動への参加意向などを調査し、今後実施する保全活動体験イベントへつなげる。</li> </ul> </li> </ol>
<p><b>予算等</b></p>	<p>チラシ印刷費、材料費等</p>	

## ■実施結果

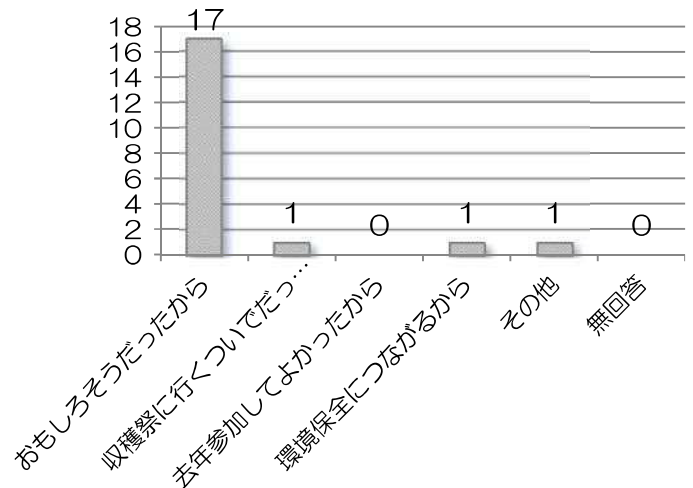
 <b>実施概要</b>	<b>実施日時</b>	平成 30 年 11 月 11 日 (土) 9:00~11:30
	<b>実施場所</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹の伐り出し：黒川地区内緑地</li> <li>・竹行燈づくり：農業用管理倉庫</li> </ul>
	<b>参加者数</b>	<p>参加者数 25組 57人 (子ども：25名、保護者：32名)          申込者数 27組 61人 (子ども：27名、保護者：34名)          ※小学生の参加者 (1年：9名、2年：4名、3年：1名、4年：5名、5年：2名、6年：4名)          ※中学生の参加者はなし (申込は1組)          ※参加者居住地域 (川崎：2組、幸：3組、中原：1組、高津：1組、宮前：1組、多摩：1組、麻生：15組、市外：1組)</p>
<b>実施状況 (写真等)</b>	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>9:00 農業用倉庫集合・開会</b></p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">「竹の切り出し」なしグループ</p> <p>9:15 竹あんどん制作</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 竹を切る</li> <li>2. ライトを入れる穴を開ける</li> <li>3. 穴を開ける絵を選ぶ</li> <li>4. ドリルで穴を開ける</li> <li>5. ライトを取り付ける</li> </ol> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>10:20 作品の鑑賞会</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>10:30 終了</p> </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">「竹の切り出し」ありグループ</p> <p>9:20 竹の切り出し</p> <p>9:50 竹あんどん制作</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 竹を切る</li> <li>2. ライトを入れる穴を開ける</li> <li>3. 穴を開ける絵を選ぶ</li> <li>4. ドリルで穴を開ける</li> <li>5. ライトを取り付ける</li> </ol> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>11:10 作品の鑑賞会</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <p>11:20 終了</p> </div> <p>※空き時間に竹に関する絵本の読み聞かせを行った。</p>	    

主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者の声（保護者の声）</li> <li>・最初は難しいと思ったけど、思ったほどでなく、きれいに出来てうれしかった。</li> <li>・教えていただき、楽しく作成する事が出来た。</li> <li>・知らない事ばかりだった。</li> </ul>
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が増え、2部制での開催となったが、3年目の開催であることもあり、比較的スムーズにできた。</li> <li>・参加者数によっては、ドリルドライバーの数量等の関係により、参加者に待ってもらう時間が発生する可能性がある。</li> </ul>
その他	—

## ■ アンケート結果（回答数：18件）

### Q1.竹あんどんづくりイベントに参加したきっかけはなんですか(いくつでも)

番号	項目	件数
1	おもしろそうだったから	17
2	収穫祭に行くついでだったから	1
3	去年参加してよかったから	0
4	環境保全につながるから	1
5	その他	1
0	無回答	0

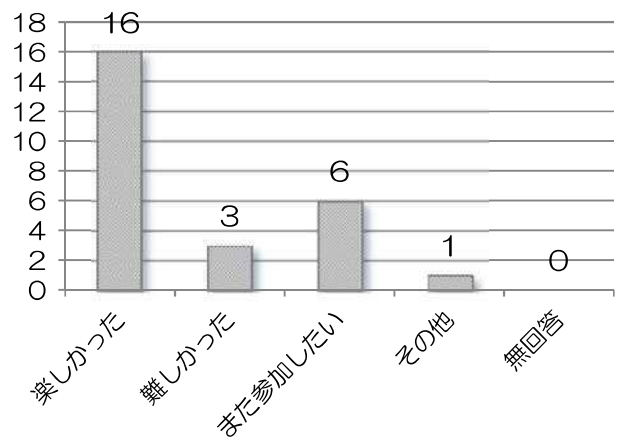


#### 主な意見

- ・竹を切るため。
- ・家に竹あんどんがあるのが素敵だと思った。
- ・黒川地域を知りたいと思った。
- ・川崎駅前のイベントで、川崎市の職員さんに教えてもらった。
- ・メールニュースかわさきメルマガ版「かわさきの農業」。
- ・新聞のチラシ

### Q2.本日の感想をお聞かせください(いくつでも)

番号	項目	件数
1	楽しかった	16
2	難しかった	3
3	また参加したい	6
4	その他	1
0	無回答	0

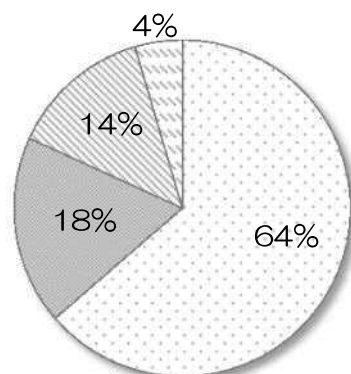


#### 主な意見

- ・最初は難しいと思ったけど、思ったほどでなく、きれいに出来てうれしかった。
- ・教えていただき、楽しく作成する事が出来た。
- ・知らない事ばかりだった。

### Q3.今後、黒川で子供向けイベント企画があったら、参加させたいですか

番号	項目	回答数
1	参加させたい	14
2	竹行燈づくりに参加させたい	4
3	企画によっては参加させたい	3
4	そうは思わない	0
5	わからない	1
0	無回答	0



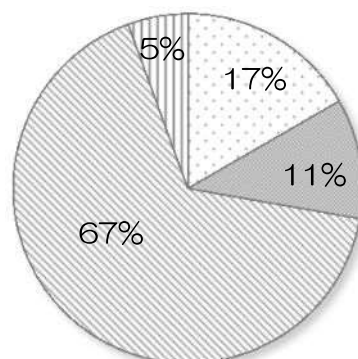
- 参加させたい
- 竹行燈づくりに参加させたい
- 企画によっては参加させたい
- そうは思わない
- わからない
- 無回答

#### 主な意見

- ・黒川に来る前に、川崎駅などでプレイベントがあるとより参加しやすい。
- ・流しそうめん（竹を使って食器づくり）。竹を使ってご飯を炊く。

### Q4.大人向けの里山保全利活用の活動に参加してみたいですか

番号	項目	件数
1	参加したい	3
2	竹行燈づくりに参加したい	2
3	企画によっては参加したい	12
4	そうは思わない	1
5	わからない	0
0	無回答	0



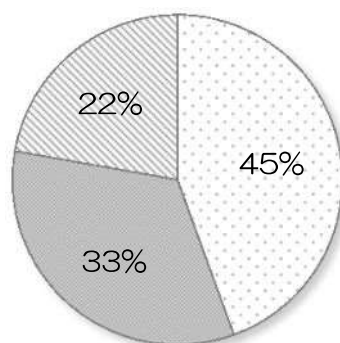
- 参加したい
- 竹行燈づくりに参加したい
- 企画によっては参加したい
- そうは思わない
- わからない
- 無回答

#### 主な意見

- ・子供と一緒にだと参加しやすいと感じる。（大人だけの時間確保が難しいため）

### Q5.今後、今年度のイベント等の開催のお知らせを電子メールで配信して良いですか


番号	項目	件数
1	配信してもよい	8
2	配信は希望しない	6
0	無回答	4



- 配信してもよい
- 配信は希望しない
- 無回答

## 里-2 里山保全活動体験

### ■実施概要

<p><b>概要・目的</b></p>	<p><b>概要</b> 里山での保全活動体験（草刈りや竹伐りなど）を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討</p> <p><b>目的</b> 【里地里山の保全】黒川地域の里地里山環境の保全につなげる 【担い手づくり】将来的な担い手づくりに向け、黒川地域の里地里山を保全する人材を発掘・育成していく</p>
<p><b>実施体制、対象者等</b></p>	<p>主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：地元農業者、川崎市公園緑地協会 対象者：地元住民、他</p>
<p><b>実施内容</b></p>	<p><b>実施日</b> 平成 31 年 2 月 9 日（土） 9：00～11：10</p>
	<p><b>実施場所</b> 黒川よこみね緑地</p>
	<p><b>周知・PR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎市公園緑地協会でのこども向けイベントでチラシ配布【約 50 枚】</li> <li>・地域活性化検討部会のイベントでのチラシ配布【約 30 枚】</li> <li>・ふれあい動物園（高津区・宮前区・麻生区）でのチラシ配布【約 100 枚】</li> <li>・竹行燈づくりに参加者へのチラシ配布【25 枚】</li> <li>・市内各庁舎情報コーナーにチラシ配布【〇〇枚】</li> <li>・ふれあい動物園（高津区・宮前区・麻生区）でのチラシ配布【約 100 枚】</li> <li>・黒川、はるひ野町内会内チラシ掲示・回覧【14 枚】</li> <li>・マイコンシティ（南黒川・栗木地区）内の企業へチラシ配布</li> <li>・明治大学収穫祭 PR ブースでのチラシ配布</li> <li>・「緑と道の美術展 in 黒川」に出展した作家への呼びかけ</li> <li>・市政だより(1/21号)掲載</li> <li>・市HP掲載</li> </ul> 
	<p><b>内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆主な活動内容：下草刈り（アズマネザサ等の除伐） <ul style="list-style-type: none"> <li>・里地里山の保全活動の一環として、緑地に繁茂している下草（アズマネザサ等）を刈る。</li> </ul> </li> <li>◆活動のポイント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ササ刈りで雑木林が明るくなり、安全で生物多様性の高い里山がよみがえる。</li> <li>・散策路周辺のササを刈ることで、道幅が確保され、散策の場としての里山の利活用につながる。</li> <li>・手鎌を使ったササ刈りは誰でも参加でき、短時間でも成果が出て、達成感が得られる。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>予算等</b> チラシ印刷費等</p>	

## ■実施結果

実施概要	実施日時	平成 31 年 2 月 9 日 (土) 9 : 00 ~ 11 : 30 (予定)
	実施場所	黒川よこみね緑地
	参加者数	参加者数 8 組 16 人 (子ども : 4 名、大人 : 12 名) 申込者数 22 組 32 人 (昨年度 16 名) ※参加者居住地域 (多摩区 : 2 組、麻生区 : 6 組)
実施状況 (写真等)	<p>■当日の流れ</p> <p>9 : 00 はるひ野駅集合 (受付)</p> <p>9 : 10 移動・道具の配布</p> <p>9 : 30 黒川よこみね緑地・開会式</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作業説明</li> <li>2. ササ刈り</li> <li>3. 休憩・道具の手入れ (15 分)</li> <li>4. 作業再開</li> <li>5. 片づけ</li> <li>6. 記念撮影</li> </ol> <p>11 : 00 閉会式</p> <p>11 : 10 道具の返却・野菜の配布・解散</p> <p>※参加者には後日アンケート送付</p>	    
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちも一緒に参加出来てお手伝いして楽しかったそうです。また来年もやると申しておりました。これからも子どもと参加出来る面白い企画を楽しみにしております。</li> <li>・悪天候 (雪) にも関わらず、親子連れを含む、多くの方が参加して頂き、最後までプログラムを実施する事が出来て良かった。参加者の皆さんも、普段できない体験を楽しんだり、積極的に子どもに体験させていた。</li> </ul>	
評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より参加者と地元農業者の方が交流できるプログラム作り。</li> <li>・子どもには難しい作業であったため、子どもへの対応を考えていく必要がある。</li> <li>・悪天候の際の連絡体制の検討 (大雪の予報だったため、多くの問い合わせが来た)。</li> </ul>	
その他		





資料5  
**1**

### 基本計画 (平成28年度作成)

**1. 農と環境を活かしたまちづくりの目的**

川崎市麻生区黒川地域は、豊かな緑と豊かな歴史が活かされた黒川里山の歴史を誇る地域です。しかしながら、良好な環境を継続的に維持保全していくためには、農・林・地産等に繋いで様々な取り組みが求められます。そのため、本取り組みは、この地域が抱える課題を解決しながら活力ある地域としていくため、農業者・地域住民・大学・行政等が連携し、農と環境を活かしたまちづくりを進めることを目的としています。

**2. 推進体制と目標、実施方針**

多様な担い手からなる「明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会」を中核に、3つの方向性を持った「専門部会（農産物等研究専門部会・地域活性化検討専門部会・黒川里山保全活用専門部会）」を立上げ、各専門部会において様々な取り組みを試行し、検証の上、継続的に実施していく取り組みを進めています。

**支える組織**

<p><b>明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会</b></p> <p>◆農と環境の両立、黒川里山の農と環境を活かしたまちづくりの方向性・推進等の承認 【構成】明治大学黒川農場、JAセレイザ川崎、JAセレイザ川崎麻生支店黒川支店、特別連携農産物販売所、黒川里山保全活用専門部会、経済産業省農産物振興課、再生産産物、地産地消推進センター（事務局）</p>	<p><b>農産物等研究専門部会</b></p> <p>新農産物や加工農産物の開発・販売促進の推進、農産物主産の振興策、食の文化の向上に関する推進</p>	<p><b>地域活性化検討専門部会</b></p> <p>農と里山連携を促したイベント等の実施や認知度を高めるための検討・推進</p>	<p><b>黒川里山保全活用専門部会</b></p> <p>黒川里山の自然・景観を維持し、生物多様性を高めるための保全、再生、活用を推進</p>
--	---	---	--

**目標**

大目標：地域の農業資源・環境資源・人的資源を活用した地域の活性化・地域交流の推進  
～持続的な黒川里山環境の保全に向けて～

小目標：農産物等の地産地消、農と里山連携・地域交流、里山の保全と活用

**実施方針**

<p><b>地元農産物の販売促進と加工品の開発</b></p> <p>農産物、特産品は加工品の開発や販売などにおける連携を推進し、地域の活性化につながる農産物等の開発・研究を行う。 →農産物等研究専門部会</p>	<p><b>農や地域連携を体感するイベントの実施・PR</b></p> <p>農や林、漁業を通じた民衆の皆が参加できる地域の活性化につながるイベント等の実施や必要な施設等の整備を行う。 →地域活性化検討専門部会</p>	<p><b>里山の保全と活用の推進</b></p> <p>多摩川沿いの黒川里山の環境の保全・再生、活用を目指す。 →黒川里山保全活用専門部会</p>
--	---	--

## 基本計画の見直しについて

2

## 見直しについて

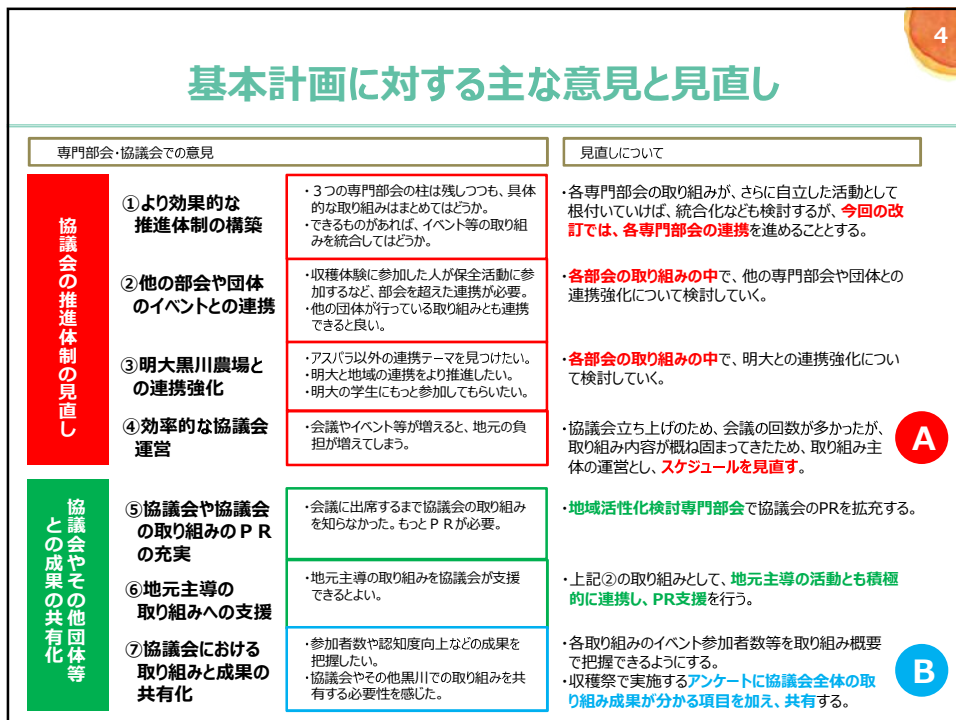
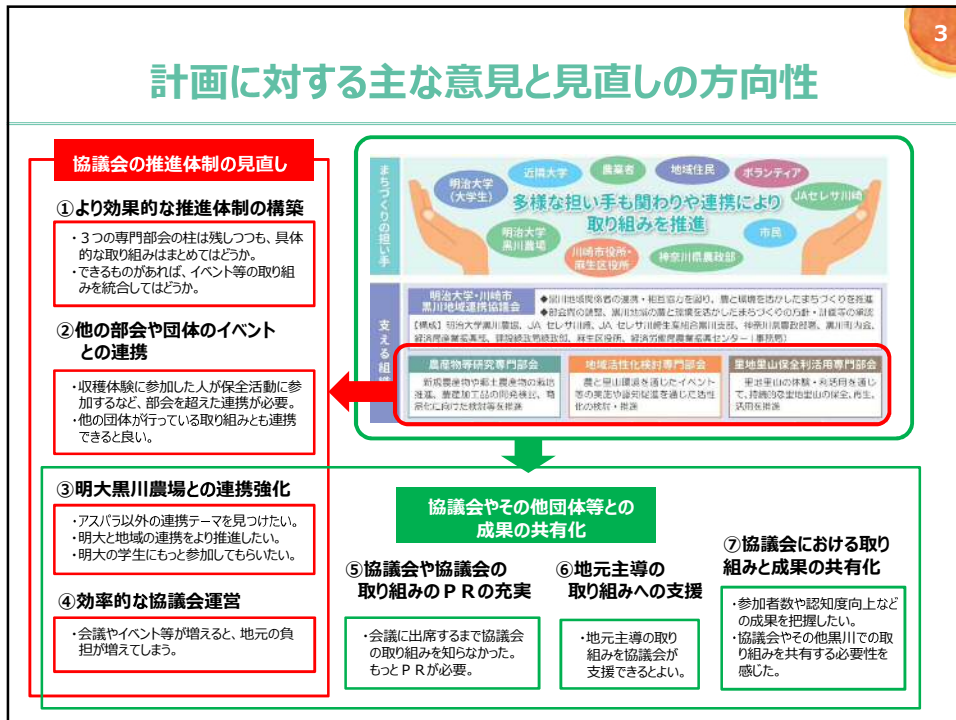
**黒川連携協議会の取り組みについて、地元農業者、明大、川崎市ともに一定の評価をしている。**

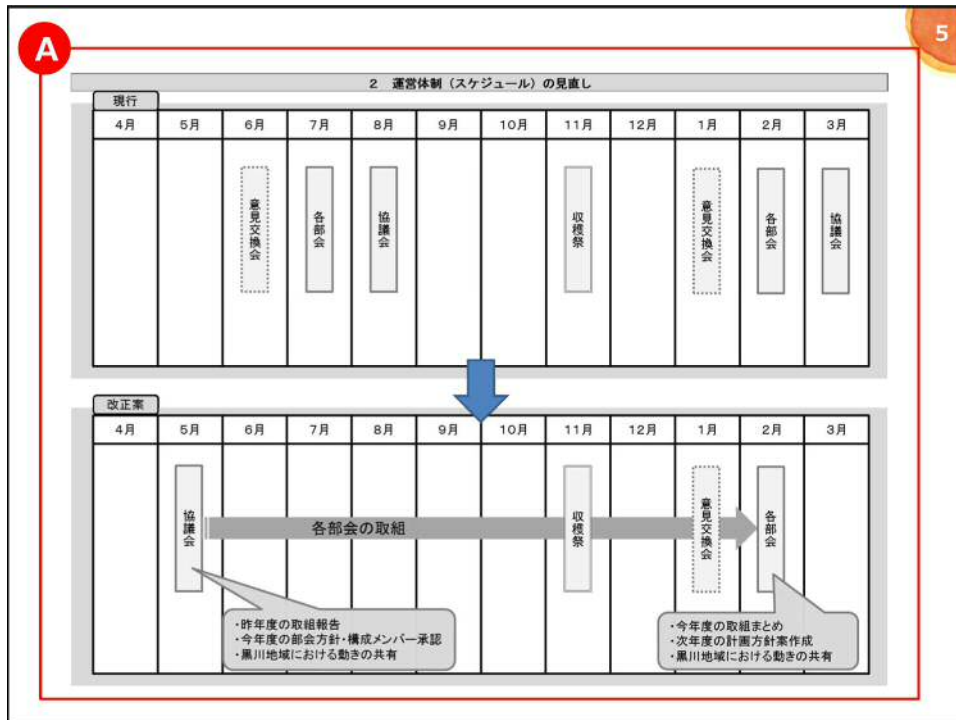
全体的な方向性は変更はせず、実施計画レベルでの見直しを行う。

- ・協議会の取り組みを、よりわかりやすく伝える必要がある。

・多様な取り組みを包括できる方針設定が必要。
- ・黒川で取り組む多様な主体とさらなる連携を広げる必要がある。
- ・協議会に参加していても、他の部会の取り組みが共有化できていない。

1. 計画の体系をよりシンプルでわかりやすいものとする。
2. 各取り組みの中で多様な連携を進める。
3. 協議会の成果を皆で情報共有するしくみにする。





**B** 6

## 農と環境を活かしたまちづくりアンケート（対象：収穫祭参加者）

——「農と環境を活かしたまちづくり」の取組みについて伺います——

※本アンケートは「黒川地域」を対象として、黒川市（大字部）黒川町を中心とした地域を対象として実施いたします。黒川市域内全域を対象としたアンケートは別途実施いたします。

Q1. 黒川市域内「農と環境を活かしたまちづくり」の取組を推進していると思いますが、どのくらいですか。（〇はほど、◎はもっと）

□ 1. ほとんどない 2. 少なめです

Q2. 実施状況と取組の進捗について、お伺いします。

A～Fの各項目、2つの回答をそれぞれ選択してください。（〇は程度、◎は進捗が速い）

※1. 実施状況の進捗については、お伺いします。（〇は程度、◎は進捗が速い）

A. 黒川市域内農産物の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

B. 子供向け取組の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

C. 市民参加型取組の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

D. 市民参加型取組の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

E. 「農と環境を活かしたまちづくり」の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

F. 黒川市域内農産物の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

Q3. どの取組に力を入れている取組について、お伺いします。

○～◎の各項目、最も力を入れている取組を選択してください。（〇は程度、◎は進捗が速い）

※1. 実施状況の進捗については、お伺いします。（〇は程度、◎は進捗が速い）

G. 黒川市域内農産物の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

H. 子供向け取組の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

I. 黒川市域内農産物の取組

1. 取組がない 2. 取組が少しある 3. 取組が中程度ある 4. 取組が盛ん

Q4. 今後の取組や取り組み、やってみたい、などについてお伺いします。

——農産物と環境とを活かしたまちづくりについて伺います。——

F1. 農産物の種類（〇はほど、◎はもっと）

1. 米 2. 小麦

F2. 農産物の種類（〇はほど、◎はもっと）

1. 米 2. 小麦 3. 大豆 4. とうもろこし 5. じゃがいも 6. とうもろこし 7. その他

F3. 農産物の種類（〇はほど、◎はもっと）

1. 米 2. 小麦 3. 大豆 4. とうもろこし 5. じゃがいも 6. とうもろこし 7. その他

F4. 農産物の種類（〇はほど、◎はもっと）

1. 米 2. 小麦 3. 大豆 4. とうもろこし 5. じゃがいも 6. とうもろこし 7. その他

F5. 農産物の種類（〇はほど、◎はもっと）

1. 米 2. 小麦 3. 大豆 4. とうもろこし 5. じゃがいも 6. とうもろこし 7. その他

F6. SNSを利用しているか（〇はほど、◎はもっと）

1. 利用していない 2. 利用している

F7. SNSを利用しているか（〇はほど、◎はもっと）

1. Facebook 2. Instagram 3. Twitter

F8. SNSを利用しているか（〇はほど、◎はもっと）

1. 利用していない 2. 利用している

F9. SNSを利用しているか（〇はほど、◎はもっと）

1. 利用していない 2. 利用している

**加える項目（案）**

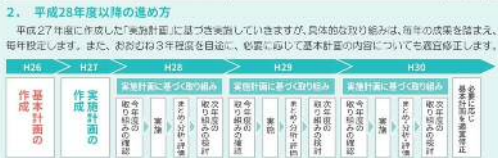
- ・黒川の好感度
- ・協議会の認知度
- ・黒川産農作物の知名度
- ・セレサモス利用頻度
- ・黒川の風景ツイッターの認知度・利用頻度 等

7		
専門部会での意見		
計画の見直しについて		
項目	専門部会での主な意見	まとめ
基本計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的にはこれまでの方向性を踏襲している。</li> <li>・全体的な方向性は継承していく。</li> </ul>	これまでの方向性を踏襲した、見直し案への相違はなかった。
運営体制 スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見は協議会や意見交換会で把握、運営する中で見直しながら進めていきたい。</li> <li>・スケジュールについて、参加する側も事務局側も、負担を軽減できる。</li> </ul>	運営体制・スケジュールに関する見直し案への相違はなかった。

8			
専門部会での意見			
全体的な事項について			
項目	専門部会での主な意見	まとめ	
連携について	部会間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの部会との連携については、かなり強く意識していく必要がある。進めていきたい。</li> <li>・ふるさと生活指導師とも連携しながら、レシピや料理方法の方法をPRしていけるとよい。</li> </ul>	部会間の連携をより強化する方向で各部会の取り組みの中で対応していく。
	明大との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代へのPR手段として大学の学生を活用したい。</li> <li>・学生に参加してもらいたい。</li> <li>・明大連携として直売での明大の野菜の直売も考えたい。</li> </ul>	PR、取り組みへの参加、野菜の直売などで、より明大との連携を強めていく方向で各部会の取り組みの中で対応していく。
その他	黒川駅前開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川駅前にコンビニ、コワーキングスペース等が開発中である。</li> <li>・黒川の駅前の開発と連携しながら、黒川の農産物のPRをしていけるとよい。</li> </ul>	ヒアリングの実施などで、黒川駅前に入る事業者等との連携の可能性を探っていく。

実施計画				〔平成27年度作成〕 〔平成28年度より継続実施〕	
1. 実施計画と平成30年度の取り組み(予定)					
基本計画の実施方針に基づき、平成30年度の取り組みについて、以下の事項を定めています。					
実施方針	具体的取組内容	No.	取組の概要	種別	目標達成率
地域産業や農産物の振興と加工品の開発	新規農産物や農産加工品の開発	101	大学と農家の意見交換会	大学と地元農業者の相互の取組に際する情報交換を行い、今後の取組の方向性を明確にする。	○ ○ ○
	新規農産物や農産加工品の開発	102	アスパラガスの産地拡大推進「アスパラ」の産地拡大推進	産地拡大推進「アスパラ」の産地拡大推進。産地拡大推進「アスパラ」の産地拡大推進。産地拡大推進「アスパラ」の産地拡大推進。	○ ○ ○
	農産物に関する講習会	103	産地拡大推進「アスパラ」の産地拡大推進	産地拡大推進「アスパラ」の産地拡大推進。産地拡大推進「アスパラ」の産地拡大推進。産地拡大推進「アスパラ」の産地拡大推進。	○ ○ ○
農産物の加工・販売の促進	農産物の加工・販売の促進	104	地元農業者との農産加工品に関する講習会	地元農業者との農産加工品に関する講習会。地元農業者との農産加工品に関する講習会。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	105	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	106	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
農産物の加工・販売の促進	農産物の加工・販売の促進	107	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	108	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	109	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
農産物の加工・販売の促進	農産物の加工・販売の促進	110	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	111	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	112	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
農産物の加工・販売の促進	農産物の加工・販売の促進	113	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	114	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	115	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
農産物の加工・販売の促進	農産物の加工・販売の促進	116	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	117	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	118	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
農産物の加工・販売の促進	農産物の加工・販売の促進	119	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	120	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○
	農産物の加工・販売の促進	121	黒川野菜・果物のPR	黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。黒川野菜・果物のPR。	○ ○ ○

# 実施計画の見直しについて



計画に対する主な意見と見直し(案)				
① 農産物等の地産地消				
現行計画の項目	専門部会での主な意見	見直しの考え方	見直し(案)	
新規農産物や郷土農産物栽培の推進	農1 大学と農家の意見交換会の開催	・農産物部会のメンバーだけでなく、協議会全体で行った方が有効だ。	・部会で明大と連携した講座等を企画し、広く参加を呼び掛ける。	発展 N農1 大学と連携した意見交換会・講座の開催
	農2 アスパラガスの新たな栽培方法「探りざり」の実施	・アスパラガスの生産体制の拡充と販路拡大が必要だ。 ・ブランド化を進めたい。	・病害虫対策など栽培技術の向上を目指す。 ・アスパラ以外の農産物栽培の可能性も検討する。	継続 N農2 栽培技術の向上に向けた取組の検討・実施
	農3 農産物に関する講習会の開催	・アスパラガスの講習会は、農2に統合してよい。 ・アスパラ以外も検討したい。 ・高齢化等の課題がある。	・栽培技術の向上に必要な講習会を検討する。 ・多様な検討・取り組みで、農業活性化を進める。	継続 N農3 地域イベント等を通じた黒川産農産物の知名度の向上
農産加工品の開発	農4 地元農業者との農産加工品等に関する検討	・余った野菜や直売に出せない野菜を活用したい。 ・農家が加工所を設置するのは難しい。 ・委託加工も考えられる。	・農産物だけでなく、加工品のPRも力を入れる。 ・地域活性化検討専門部会等との連携を進める。	統合 N農4 収穫祭等における黒川産農産物のPR
	農5 黒川野菜・果物のPR	・収穫祭で黒川野菜のPRをして、後日、セサモスに再来訪してもらえようとした。	・収穫祭での販売のほか、黒川農場等と連携してPRする。	継続

黒川駅前に入る事業者等との連携の可能性を探っていく。

11

## 専門部会での意見

### ① 農産物等の地産地消

見直し（案）の項目	専門部会での主な意見	まとめ	
<b>実施方針 農1</b> 農産物等の栽培技術の向上	N農1 大学と連携した意見交換会・講座の開催	・地元農業者がどんな品種に興味があるか知りたい。 ・微気象を研究している先生と連携できるとよい。 ・営農継続できるよう、長期的視点で考えていく必要がある。	・地元農業者が興味を持っている品種についてや、営農継続の課題などについての <b>意見交換会</b> や、 <b>講習会を開催</b> していく。
	N農2 栽培技術の向上に向けた取組の検討・実施	・アスパラ栽培の課題を共有し、各主体が手分けしてデータ分析をしたい。 ・品質をアピールする等、どのように販売していくかが課題	
<b>実施方針 農2</b> 黒川産農産物の知名度向上とPRの推進	N農3 地域イベント等を通じた黒川産農産物の知名度の向上	・収穫体験は大変好であり、取り組む価値がある。 ・柿やユズがPRできていない。 ・安心安全の取り組みをPRすべき。	・収穫体験等の地域イベントにより、 <b>黒川の農産物のPR・知名度向上を図る</b> 。
	N農4 収穫祭等における黒川産農産物のPR	・黒川の野菜のPRになった。 ・味の違いなどを知ってもらえるアンケートできるとよい。 ・加工品の希少性を生かして取り組めると面白い	

12

## 計画に対する主な意見と見直し（案）

### ② 農と里山体験・地域交流

現行計画の項目	専門部会での主な意見	見直しの考え方	見直し（案）
農と里山の認知促進	地1 サイン・散策マップの検討・試行	・これまでどおりイベント時に配布・掲示する。 ・地元、来街者から設置要望があるか把握する。	・常設ではなく、イベント時にマップなどを配布・掲示。 ・マナーについては、情報発信にあわせて啓発する。
	地2 里山景観づくりの検討・試行	・花だけでなく、農作物が広がる景観も地域の景観としてPRできる。	・黒川の四季を通じた見所などを区のHPやツイッター、パネル等で発信する。
	地3 HP等による取り組み紹介とイベントPR	・協議会のPRの拡充や、地域で情報を共有する必要がある。 ・協議会以外でも様々な団体等がイベントを実施。	・協議会と各部会の取り組みのPRを拡充する。 ・他の黒川地域イベントとの広報連携を行う。
農と里山の体感	地4 グリーンツーリズム	・大学も場所と講師を継続して協力できる。	・地元農家や大学と連携した収穫体験を実施。
地域資源の発見・創造	地5 地域農産物等の活用「菜の花プロジェクト」	・当該団体の活動が自立した。	・今後も広報等の支援を行う。
	地6 里山アート制作と展示	・黒川のPRにつながった。 ・同時期に地元発案の取り組みも盛況。	・今後は地元主催アートイベントとの連携を強化。 ・広報協力等を実施。

発展  
新案  
発展  
発展  
継続・発展

**実施方針 地1**  
黒川の魅力情報の発信

**実施方針 地2**  
農と里山を体感するイベントによる地域連携強化

## 専門部会での意見

### ② 農と里山体験・地域交流

見直し(案)の項目	専門部会での主な意見	まとめ	
<b>実施方針地1</b> 黒川の魅力情報の発信	N地1 黒川里山の風景のPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSで黒川の風景を紹介したい。</li> <li>・海道緑地の新しい道をPRしていきとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSで黒川の風景を紹介する。</li> <li>・海道緑地の新しい道をPRしていく。</li> </ul>
	N地2 協議会の取り組みやイベントのPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫祭のような場で情報発信することが重要。</li> <li>・新百合ヶ丘駅周辺でパネル展示を充実させたい。</li> <li>・農産物部会や里地里山部会のイベントパネル展示を行いたい。</li> </ul>	
<b>実施方針地2</b> 農と里山を体感するイベントによる地域連携強化	N地3 グリーンツーリズムの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンツーリズムは非常に好評。</li> <li>・参加者に、セサモス等の地元の農業について知ってほしい。</li> <li>・里地里山のイベントと連携してイベントをしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きグリーンツーリズムを実施しながら、<b>セサモス等の地元の農業との連携</b>や、<b>他の専門部会との連携</b>について検討していく。</li> </ul>
	N地4 地元主催アートイベントへの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑と道の美術展は楽しまれている。広報支援していきたい。</li> <li>・収穫祭で、和光大学の展示がなくなってしまうと寂しい。</li> <li>・地元と連携し、他の展示が出来るのではないかな。</li> </ul>	

## 計画に対する主な意見と見直し(案)

### ③ 里山の保全と活用

現行計画の項目	専門部会での主な意見	見直しの考え方	見直し(案)		
里地里山の体験・利活用	里1 里山の利活用 竹あんどんづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の技術が向上し、竹行燈だけでなく、他にも制作が可能。</li> <li>・WS参加者も、増やせる。</li> <li>・作業の拠点がほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹の活用方法を広げる。</li> <li>・参加者が増えるよう、広報を充実させる。</li> </ul>	継続・発展 N里1 竹を使ったワークショップの実施	<b>実施方針里1</b> 里山資源の活用推進
里地里山の保全活用	里2 里山保全活動体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や企業のボランティアを活用した管理を実施できるとよい。</li> <li>・参加者をもっと増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川周辺の企業や団体との連携を広げる。</li> <li>・明治大学と連携した実施方法を検討する。</li> </ul>	継続・発展 N里2 里山の保全活動体験イベントの実施	<b>実施方針里2</b> 里山の保全活動体験の推進

## 専門部会での意見

### ③里山の保全と活用

見直し（案）の項目	専門部会での主な意見	まとめ			
<b>実施方針 里1 里山資源 活用 推進</b>	<b>N里1 竹を使ったワークショップの実施</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢的にも、人数的にも今回の参加者ほどの対応は可能。</li> <li>・待ち時間にシダケテッポウ、竹とんぼを作れる。</li> <li>・竹行燈の会のPRとして「小野路やまいち」へ出店予定。</li> <li>・例年どおり、収穫祭で販売を行う。</li> <li>・竹行燈の会の成果を明大の収穫祭で発表したい。</li> <li>・太い竹の確保が課題。</li> <li>・民有地で竹林の管理が出来るとうい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間に他の制作物を作るなど、これまでの竹あんどんイベントを発展させ、<b>イベントの魅力を高める。</b></li> <li>・民有地の竹を使う事で、<b>太い竹を確保</b>し、手入れのいさどかない<b>民有地の竹林の管理</b>を行う。</li> <li>・収穫祭等で、竹行燈の会の取り組みの成果報告を行う。</li> </ul>		
	<b>実施方針 里2 里山の保全 活動体験 の推進</b>	<b>N里2 里山の保全活動体験 イベントの実施</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪天候の際、1週間後に順延であれば、対応可能。</li> <li>・参加者増の対応は可能。</li> <li>・カマは60個確保可能。</li> <li>・道具について考慮が必要</li> <li>・市民によって里山が管理できるとよい。</li> <li>・活動終了後にどこかの畑で収穫体験が出来ると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全活動後に、近隣で<b>収穫体験が出来るように調整</b>を行い、<b>イベントの魅力度・集客力をUP</b>させる。</li> <li>・道具や荒天時の対応についての対応を検討する。</li> </ul>



# 黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり 概要説明書 H31.3(案)

## 基本計画

(平成26年度作成)  
(平成30年度一部改定)

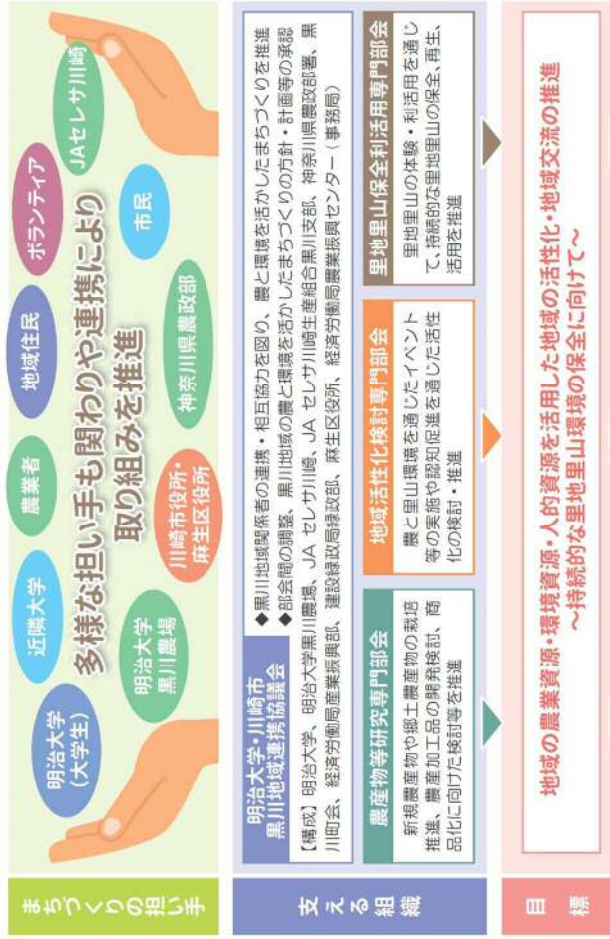
### 1. 農と環境を活かしたまちづくりの目的

川崎市麻生区黒川地域は、豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す地域です。しかしながら、良好な環境を持続的に維持保全していくためには、農・緑・地域等に関して様々な課題があります。

そのため、本取り組みは、この地域が抱える課題を解決しながら活力ある地域としていくため、農業者・地域住民・大学・行政等が連携し、農と環境を活かしたまちづくりを進めることを目的としています。

### 2. 推進体制と目標、実施方針

多様な担い手からなる「明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会」を中心に、3つの方向性を持った「専門部会（農産物等研究専門部会・地域活性化検討専門部会・里地里山保全活用専門部会）」を立上げ、各専門部会において様々な取り組みを試行し、検証の上、継続的に実施していく取り組み内容を検討していきます。



### 基本方針

**農産物等の地産地消**  
農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。  
→農産物等研究専門部会

**農と里山体感・地域交流**  
農や緑、環境を通じた地域活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な情報発信を行う。  
→地域活性化検討専門部会

**里山の保全と活用**  
多摩丘陵の里地里山の地域的価値を再発見し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。  
→里地里山保全活用専門部会

## 実施計画

(平成27年度作成)  
(毎年改定)

### 1. 実施計画と平成31年度の取り組み(予定)

基本方針に基づき、平成31年度の取り組みについて、以下の事項を定めています。

基本方針	実施方針	No.	取り組み項目	概要	H31
農産物等の地産地消の推進	農産物等の栽培技術、管理環境の向上	農1	大学と連携した意見交換会、講座の開催	目的:明治大学の先端技術やノウハウを活用した農業活性化。内容:大学の研究成果等を共有できるよう、地元農業者が参加できる意見交換会や講座を開催する。	○
		農2	栽培技術の向上に向けた取組の検討・実施	目的:大学等と連携し、栽培技術の向上を図る。内容:農産物の栽培方法等に関する勉強会や研修会を開催し、黒川における栽培技術の向上を図る。	○
	黒川の農産物の知名度の向上	農3	地域イベント等を通じた黒川産農産物の知名度の向上	目的:地域イベント等を通じ、黒川産農産物の知名度向上を図る。内容:黒川の農産物を身近に親しんでもらえるよう、黒川地域で行われるイベント等を通じ、知名度向上を図る。	○
		農4	収穫祭等における黒川産農産物のPR	目的:販売会を通じて黒川産農産物のファンを増やす。内容:明治大学等と連携しながら、黒川産農産物をPRする。	○
黒川の魅力情報の発信	黒川の魅力情報の発信	地1	黒川里山の風景のPR	目的:里山の四季の風景をより多くの人に楽しんでもらう。内容:麻生区のホームページやツイッター、また、街中のポスター掲示等を通じて、魅力ある里山風景を発信する。	○
		地2	協議会の取り組みやイベントのPR	目的:協議会と、協議会の取り組みをより多くの人に発信する。内容:部会連携を強化し、協議会の取り組みや成果を麻生区HP等で紹介。	○
	農と里山体感するイベントによる地域連携強化	地3	グリーンツーリズムの実施	目的:黒川の魅力を体感してもらい、再来訪のきっかけをつくる。内容:市民を対象に、明治大学や地元農業者と連携した収穫体験を開催。	○
		地4	地元主催アートイベントへの協力	目的:農と里山体感するイベントを促進し、活動を活性化させる。内容:地元主催のアートイベント(種と道の美術館の黒川の広報紙(チラシ)やパンフの配布やPR掲載、パネル展示等)を行う。	○
里山の保全と活用	里山の保全と活用	里1	竹を使ったワークショップの実施	目的:竹林の整備の発生材活用と竹林管理の意識啓発を行う。内容:地元小学生とともに、竹林から竹を切り出すことから始める竹を使ったワークショップ(竹あんどん等)を開催。	○
		里2	里山の保全活動体験イベントの実施	目的:体験を通じて、新たな保全活動の担い手の発掘。内容:黒川周辺の団体などに呼びかけを行い、多様な連携を図りながら里山保全活動体験を実施する。	○

### 2. 平成31年度以降の進め方

平成31年度に作成した「実施計画」に基づき実施していきませんが、具体的な取り組みは、毎年の成果を踏まえ、毎年設定します。また、おおむね3年程度を目途に、必要に応じて基本計画の内容についても適宜修正します。







# 目次

はじめに .....	1
本書の構成 .....	2
これまでの取り組みと改定のポイント .....	3

## 基本計画編

1. 農と環境を活かしたまちづくりの目的 .....	5
2. 対象地 .....	5
3. 推進体制 .....	6
4. 目標と基本方針 .....	7

## 実施計画編

1. 実施計画の目的と使い方 .....	8
2. 実施計画の構成 .....	10
3. 平成31年度以降の進め方 .....	10
4. 「実施計画」平成31年度の取り組み一覧（案） .....	11

---

【参考】年度別取り組みシート〈計画と評価〉 .....	13
-----------------------------	----

1. 農産物等研究専門部会
2. 地域活性化検討専門部会
3. 里地里山保全利活用専門部会

## はじめに

川崎市麻生区黒川地域は、都市近郊に位置しながら、谷戸田や雑木林、良好な水辺環境や水田など、良好な里地里山の風景が保たれている地域です。

川崎市では、平成 17 年 3 月に農業振興計画『かわさき「農」の新生プラン』に基づき、黒川地域の黒川上地区（約 150ha）と黒川東地区（約 19ha）を農業振興地域に指定しました。また、黒川地域の良好な自然環境の保全のため、地権者の協力のもと、黒川地域内の約 42ha を特別緑地保全地区に指定しています。（平成 31 年 3 月現在）

平成 26 年 3 月には、「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」に基づき、黒川地域（約 201.91ha）が神奈川県の「里地里山等保全地域」に選定されました。

さらに、平成 27 年度には、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」（500 箇所）にも選定され、次世代に残していくべき里地里山の一つであると位置づけられました。

このように、黒川地域は、良好な里地里山の風景が残る地域として、川崎市のみならず、県や国からも高い評価をされています。しかし、里地里山とは本来、長い時間をかけて人々が自然と寄り添いながらつくりあげてきた自然環境であり、この自然環境を維持していくためには、多様な主体の連携による持続的な保全活用の取り組みが必要です。

そのため、「黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり」を推進し、多様な担い手の関わりや連携によって、地域の活性化や持続的に里地里山を維持保全していくため、平成 26・27 年度に基本計画及び実施計画を策定し、平成 28 年度からは実施計画に基づく具体的取り組みを展開してきました。平成 30 年度は取り組みを実施しながら、この 3 年間の成果を振り返り、各専門部会、協議会において今後の取組みについて議論を重ね、基本計画及び実施計画を改定しました。



## これまでの取り組みと改定のポイント

平成 28 年度より本格的実施した「黒川地域の農と環境を活かしたまちづくり」では、多様な主体との連携による成果があった。また一方で、取り組みが進展するとともに新たな課題もでてきたことから、これまでの取り組みの成果を整理するとともに、改定のポイントを整理した。

### 1) 平成 28 年度～30 年度の主な成果

#### 成果 その 1

**大学・地元・行政の連携体制ができ、多様な取り組みを進めることができた。**

明治大学の准教授が開発したアスパラガスの栽培方法を 17 名もの黒川農業者が参加し、特産品開発を試行、また、地元農業者と明治大学と連携した収穫体験を企画・実施するなど、多様な連携体制を構築することができた。



アスパラガスの実験圃場



黒川農場で食育イベント



地元農家の畑で収穫体験

#### 成果 その 2

**里地里山の資源を活かした新たな取り組みが実施され、地域に周知されてきた。**

里地里山の資源を活かし、里山アートの展示や農産物の販売、竹あんどんづくりワークショップなど、様々な取り組みを実施し、その関心度、認知度も高まってきた。



収穫祭での販売



サトヤマアートサンポ



竹あんどんづくり

#### 成果 その 3

**協議会の取り組みが発端となって、コラボレーションが発生！**

黒川の子供もたちによる里山アート作品づくり、マイコンシティの企業による里山アートを活かしたイベント開催、黒川竹行燈の会による企業主催の自然観察会への協力など、協議会の取り組みが発端となった様々なコラボレーションが発生した。



子供たちとのワークショップ



シグマ社の写真イベント



小田急電鉄主催イベント

## 2) 今後の課題（協議会での意見より）

成果を踏まえ、今後の課題として、主として以下の4点があげられた。

- ① 多様な主体が黒川で自主的な活動を行っており、協議会以外の活動も黒川の魅力となっている。これらの取り組みを継続していく必要がある。
- ② 色々な取り組みが黒川で展開されているが、他の部会の取り組みや、協議会以外の取り組みを知る機会が少なく、また、類似している活動もある。
- ③ 実施計画の具体的な取り組みの中には、新たなステージに発展し、専門部会の枠組みに収まらない活動もでてきている。
- ④ 実施計画の具体的な取り組みの中には、まだ実現に至っていない取り組みもある。

## 3) 改定のポイント

今後の課題から、以下をポイントに、基本計画、実施計画の内容をそれぞれ改定した。

- ① 黒川で取り組む多様な主体とさらなる連携を広げていく。  
→ 各部会の取り組みの中で、多様な連携（明大連携、部会連携、地域連携）を進めていく。
- ② 協議会の取り組みをより多くの人に伝えていく必要があり、また、現状の方向性を維持しつつも、多様な取り組みを包括できる方針を設定する。  
→ 計画の体系をよりシンプルで分かりやすいものとする。
- ③ 各部会の取り組みだけでなく、協議会全体の取り組みの成果も共有化する。  
→ 協議会の成果を皆で共有できる仕組みにする。



# 基本計画編

## 1. 農と環境を活かしたまちづくりの目的

川崎市麻生区黒川地域は、豊かな緑と農地が残された里地里山の面影を残す地域です。しかしながら、良好な環境を持続的に維持保全していくためには、農・緑・地域等に関して様々な課題があります。

そのため、本取り組みは、この地域が抱える課題を解決しながら活力ある地域としていくため、農業者・地域住民・大学・行政等が連携し、農と環境を活かしたまちづくりを進めることを目的としています。

### ■ 黒川地区が抱える課題

#### 農が抱える課題

- 都市農地の保全
- 農家・農業後継者の減少
- 地元農産物の魅力づくりや付加価値の向上

#### 緑が抱える課題

- 里地里山環境の持続的な保全・活用と担い手の確保
- 生物多様性の保全、環境学習環境の確保
- 農業施策と緑地保全施策の連携

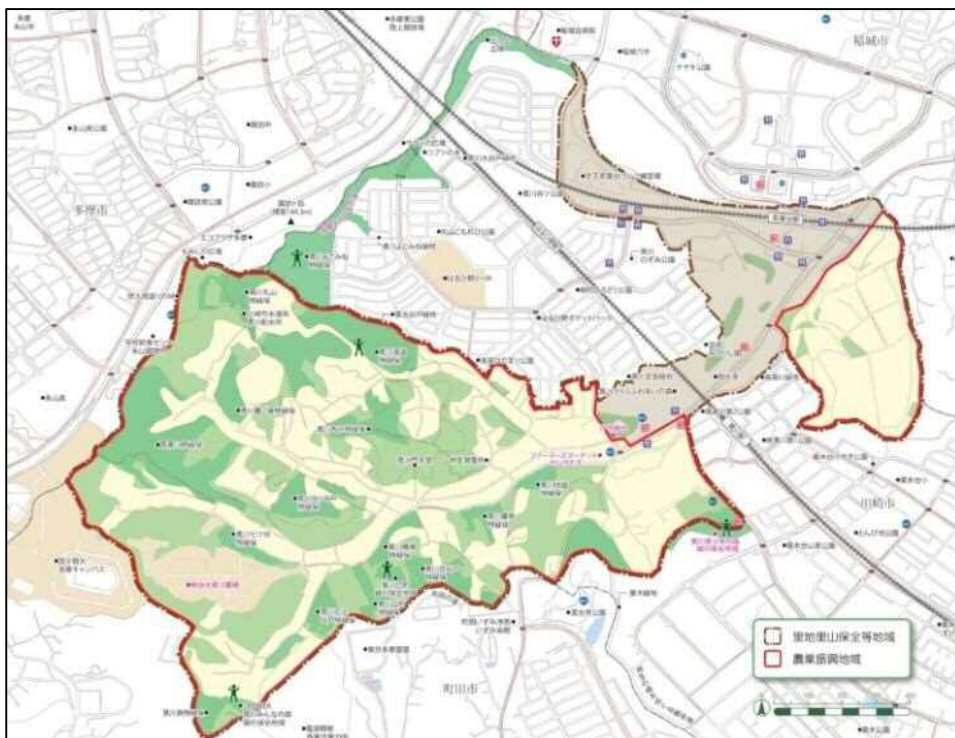
#### 地域が抱える課題

- 地域の活性化と増加する来訪者等への対応、マナー向上
- 農業者、地域住民、市民ボランティア、大学、周辺企業、市民等との積極的な連携

## 2. 対象地

農と環境を活かしたまちづくりの対象地は、下記の「里地里山保全等地域」を中心に、周辺住宅地等と連携しながら取り組みを進めていきます。

川崎市黒川地区	川崎市の北西の突端に位置し、周りを多摩市・稲城市・町田市に市境を接し、豊かな緑が残された里地里山の面影を残すエリアと整備された良好な住宅地を合わせ持つエリア
里地里山保全等地域	神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例に基づき、選定された地域
最寄り駅	京王相模原線若葉台駅または小田急唐木田線はるひ野駅・黒川駅
近年の変化	平成 20 年に大型農産物直売所「セレスモス」の開所 平成 24 年に明治大学黒川農場の開場



### 3. 推進体制

多様な担い手からなる「黒川地域連携協議会」を中心に、3つの方向性を持った「専門部会（農産物等研究専門部会・地域活性化検討専門部会・里地里山保全利活用専門部会）」の体制で、引き続き各専門部会において様々な取り組みを試行・検証の上、継続的に実施していく内容を検討していきます。



#### 明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会

- ◆ 黒川地域関係者の連携・相互協力を図り、農と環境を活かしたまちづくりを推進
- ◆ 部会間の調整、黒川地区の農と環境を活かしたまちづくりの方針・計画等の承認

【構成】明治大学、明治大学黒川農場、JAセレサ川崎、JAセレサ川崎生産組合黒川支部、神奈川県農政部署、黒川町会、経済労働局産業振興部、建設緑政局緑政部、麻生区役所、経済労働局農業振興センター(事務局)

支える組織

#### 農産物等研究専門部会

新規農産物や郷土農産物の栽培推進、農産加工品の開発検討、商品化に向けた検討等を推進

##### 【構成】

明治大学黒川農場、JAセレサ川崎、神奈川県農業技術センター、麻生区役所、経済労働局農業振興センター（事務局）

#### 地域活性化検討専門部会

農と里山環境を通じたイベント等の実施や認知促進を通じた活性化の検討・推進

##### 【構成】

明治大学黒川農場、JAセレサ川崎、黒川観光農業振興会、黒川町会、経済労働局、建設緑政局、麻生区役所（事務局）

#### 里地里山保全利活用専門部会

里地里山の体験・利活用を通じて、持続的な里地里山の保全、再生、活用を推進

##### 【構成】

明治大学黒川農場、JAセレサ川崎、黒川緑地管理協議会、黒川はるひ野管理組合、黒川竹行燈の会、黒川宮農団地管理組合、神奈川県農政事務所、経済労働局農業振興センター、麻生区役所、建設緑政局（事務局）

#### 4. 目標と基本方針

目 標：地域の農業資源・環境資源・人的資源を活用した地域の活性化・地域交流の推進  
～持続的な里地里山環境の保全に向けて～

基本方針：農産物等の地産地消（農産物等研究専門部会）  
農と里山体験・地域交流（地域活性化検討専門部会）  
里山の保全と活用（里地里山保全利活用専門部会）



##### (1) 農産物等の地産地消

農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。

##### (2) 農と里山体験・地域交流

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な情報発信を行う。

##### (3) 里山の保全と活用

多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。

# 実施計画編

## 1. 実施計画の目的と使い方

### ■ 実施計画の目的

本実施計画は、「農と環境を活かしたまちづくり 基本計画」の**基本方針**を具体化するため、今後、地元農業者・地域住民・大学・行政等が連携した取り組みを持続的かつ効果的に推進するための具体的な取り組み事項をとりまとめたものです。

取り組み事項については、地域課題や地元のニーズ等に柔軟に対応するため、当初よりその内容を固定することなく、実施方針に基づく取り組み事項を毎年定め、その実施効果を確認しながら、毎年度、取り組みを見直し、充実・強化を図り、より良いまちづくりを進めていくものとしています。

### ■ 実施計画の期間

本実施計画は、基本計画の**基本方針**に基づき、毎年様々な取り組みを試行しながら進めていきますが、3年程度を目処に毎年の成果を評価・検証を行い、基本計画の内容（目標、体制、実施方針等）についても必要に応じて修正等を加え、更なる継続をしていくものとしています。

### ■ 実施計画の構成と使い方

本実施計画は、単なる計画として終わることなく、その実施内容の結果や評価を一元的に確認することが可能なように、各取り組み事項の詳細計画とその評価をとりまとめることのできるシートを添付しています。

#### 実施計画

・基本計画の実施方針に基づき、以下の事項を定めています。

#### ① 実施方針の具体化の考え方

実施方針別に具体的な取り組みの方向性とその考え方についてまとめています。

#### ② 取り組み

次年度に実施する具体的な取り組み項目とその内容をまとめています。なお、取り組みについては、実施効果を踏まえ、毎年新たに設定するものとします。

#### 参考 年度別取り組みシート〈計画と評価〉

毎年の取り組みの計画と評価を一元的に取りまとめるシートとなっています。

（※本書では、シートのひな形を掲載しています。）

#### ① 専門部会別取り組み事項の計画の作成

・3つの専門部会ごとに、当該年度において実施する取り組み事項を計画としてまとめます。

#### ② 専門部会別取り組み事項の実施状況と評価の作成

・3つの専門部会ごとに、当該年度において実施した状況とその効果や評価を一元的にまとめます。

#### ③ 次年度に向けたとりまとめ

・各取り組み事項の評価結果等をもとに、まとめと次年度の取り組みにつなげていきます。

## 【参考】各取り組みの「計画」シートと「実施・評価シート」の記載例

3つの専門部会ごとに、当該年度で実施する取り組みについて、その計画内容を左側1ページにとりまとめ、その右側に実際の実施状況・評価をとりまとめ、取り組みごとに見開き2ページで、計画と評価をまとめています。

取り組み成果としてのパンフレット、チラシ、活動写真については、適宜シートを追加し、とりまとめるものとしています。

### 計画

取り組み内容が簡潔に把握できるように、取り組み概要をとりまとめた上で、前提となる課題や条件、目標、実施体制、具体的な実施内容（実施予定日、実施場所、周知方法等、内容、予算）を記載します。

### 実施・評価

実施状況の写真や実施概要の記載とともに、参加者や主催者の声、アンケート結果などをとりまとめ、その評価や今後の進め方について専門部会での検討内容を記載します。

地-4-1 <グリーンツーリズム> トマト&ブルーベリー収穫体験の実施	
■計画概要	
概要・目的	<p><b>目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20～30代男女のモニターを募集し、トマトとブルーベリーの収穫体験と、とりたてを食べる食農体験イベントを実施</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【産地振興のPR】 黒川産の野菜や果物のPR。参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。【参加者以外へのPR】 報道取材やSNSによる発信により、参加者以外へも幅広い県民の農業についての関心を高める。</li> <li>【ニーズ調査】 若い世代の農業についてのニーズや活性化のための意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。</li> </ul>
実施体制、対象者等	<p>主催：県市区役所</p> <p>協力：明治大学黒川農場、セレザモス、川崎市農業振興センター産地課</p> <p>別業者：川崎市在住・食学の20～30代の男女（モニターとして、当日及び後日送付のアンケートにご回答いただける方）</p>
実施予定日	平成29年7月22日（土） 9:30～13:30 黒川駅南口集合
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルーベリー収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑</li> <li>トマトの収穫体験&amp;農場見学：明治大学黒川農場</li> <li>座談会&amp;アンケート調査等：明治大学黒川農場</li> </ul>
周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>県市区ホームページでの告知</li> <li>タウンニュース掲載</li> <li>チラシの配布（イオン黒川駅前、食品衛生協会経由飲食店、区役所、市図書館ラックなど）</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①収穫体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブルーベリーの収穫</li> <li>トマトの収穫</li> </ul> </li> <li>②明治大学黒川農場の見学 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者に明治大学黒川農場を紹介してもらう。</li> </ul> </li> <li>③座談会とアンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>収穫体験や広報についてなど、今後の様々な取り組みに対するニーズや課題点などの意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。</li> </ul> </li> </ul>
予算等	参加費無料
その他	—

■実施結果	
実施日時	平成29年7月22日（土） 9:30～13:30
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルーベリー収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑</li> <li>トマトの収穫体験&amp;農場見学：明治大学黒川農場</li> <li>座談会&amp;アンケート等：明治大学黒川農場</li> </ul>
参加者数	14名（申込：22名、欠席連絡済3名、連絡なし5名）
実施状況（写真等）	
主催者や参加者の声（主な意見、感想）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無生区にこんな取組があると知らなかった。</li> <li>・収穫体験は、よい経験になった。</li> <li>・区内に農地があることが分かったり、農場に入ることができて、嬉しい場所だった。</li> <li>・20～30代が対象だったので、1人でも参加しやすかった。</li> </ul>
評価と今後の基盤の方針（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫できる量が多く、参加者の満足度が高かった。また、座談会を実施したことで参加者以上の交流が図られた。</li> <li>・SNSやかわのまきイベントアプリ等を活用した告知方法の検討。</li> </ul>
その他	—

## 2. 実施計画の構成

平成 30 年度以降の実施計画の構成を以下のように定めます。

基本方針	実施計画	
	実施方針	取り組み（例）
<b>農産物等の地産地消</b>  農産物等研究専門部会	<b>農産物等の栽培技術、営農環境の向上</b>	効率的・効果的な農産物の栽培や、地域の特色ある農産物の栽培など、黒川の農業者の栽培技術や営農環境の向上に向けた取り組みを実施する。 ・栽培技術の向上に向けた取組の検討・実施 など
	<b>黒川の農産物の知名度向上と PR の推進</b>	黒川の農産物をより多くの人に知ってもらい、親しんでもらえるよう、明治大学収穫祭でのイベント販売をはじめ、セレスモス、その他スーパー等、多様な連携を推進し、PR する。 ・収穫祭等における黒川産農産物の PR など
<b>農と里山体感・地域交流</b>  地域活性化検討専門部会	<b>黒川の魅力情報の発信</b>	黒川の魅力である里山風景や、協議会や協議会で取り組んでいるイベント等を広く発信し、多くの人に黒川地域の魅力を伝える。 ・黒川里山の風景の PR など
	<b>農と里山を体感するイベントによる地域連携強化</b>	黒川里山の魅力を体感するイベントを開催するとともに、地域で開催される魅力あるイベントとも連携し、黒川地域を活性化する。 ・グリーンツーリズムの実施 ・地元主催アートイベントへの協力 など
<b>里山の保全と活用</b>  里山里山保全利活用専門部会	<b>里山の体験・利活用</b>	里山環境とふれあう機会をつくるため、里山の竹材や木材の利活用や里山環境を活かした多様な体験を提供する取り組みを実施する。 ・竹を使ったワークショップ など
	<b>里山の保全管理</b>	持続的な里山環境の保全と担い手の確保につなげるため、地域の団体との連携による保全管理等の取り組みを実施する。 ・里山の保全活動体験イベントの実施 など

## 3. 平成 31 年度以降の進め方

平成 30 年度に改定した「実施計画」に基づき実施していきますが、具体的な取り組みは、毎年の成果を踏まえ、毎年設定します。また、おおむね 3 年程度を目途に、必要に応じて基本計画の内容についても適宜修正します。



#### 4. 「実施計画」平成31年度の取り組み一覧（案）

基本方針	実施方針	No.	取り組み項目	概要
農産物等の 地産地消 農産物等研究 専門部会	農産物等の 栽培技術、 営農環境の 向上	農1	大学と連携した意見 交換会、講座の開催	目的：明治大学の先端技術やノウハウを活用した農業活性化。 内容：大学の研究成果等を共有できるよう、地元農業者が参加で きる意見交換会や講座を開催する。
		農2	栽培技術の向上に向 けた取組の検討・実施	目的：大学等と連携し、栽培技術の向上を図る。 内容：農産物の栽培方法等に関する勉強会や研修会等を開催し、 黒川における栽培技術の向上を図る。
	黒川の農産 物の知名度 向上とPR の推進	農3	地域イベント等を通じ た黒川産農産物の知 名度の向上	目的：地域イベント等を通じ、黒川産農産物の知名度向上を図る。 内容：黒川の農産物を身近に親しんでもらえるよう、黒川地域で 行われるイベント等を通じ、知名度向上を図る。
		農4	収穫祭等における黒川 産農産物のPR	目的：販売会を通じて黒川産農産物のファンを増やす。 内容：明治大学等と連携しながら、黒川産農産物をPRする。
農と里山 体感・ 地域交流 地域活性化 検討専門部会	黒川の魅力 情報の発信	地1	黒川里山の風景のPR	目的：里山の四季の風景をより多くの人に楽しんでもらう。 内容：麻生区のホームページやツイッター、また、街中でのポス ター掲示等を通じて、魅力ある里山風景を発信する。
		地2	協議会の取り組みや イベントのPR	目的：協議会と、協議会の取り組みをより多くの人に発信する。 内容：部会連携を強化し、協議会の取り組みや成果を麻生区HP 等で紹介。
	農と里山を 体感するイ ベントによる地 域連携強化	地3	グリーンツーリズム の実施	目的：黒川の魅力を体感してもらい、再来訪のきっかけをつくる。 内容：市民を対象に、明治大学や地元農家と連携した収穫体験を 開催。
		地4	地元主催アートイ ベントへの協力	目的：農と里山を体感するイベントを応援し、活動を活性化する。 内容：地元主催のアートイベント「緑と道美術展in黒川」の広報協力 (チラシやパンフの配架やHP掲載、パネル展示等)を行う。
里山の 保全と活用 里地里山保全利 活用専門部会	里山の 体験・利活用	里1	竹を使ったワーク ショップの実施	目的：竹林の整備の発生材活用と竹林管理の意識啓発を行う。 内容：地元小学生とともに、竹林から竹を伐り出すところからは じめる竹を使ったワークショップ（竹あんどん等）を開催。
	里山の 保全管理	里2	里山の保全活動体験 イベントの実施	目的：体験を通じた、新たな保全活動の担い手の発掘。 内容：黒川周辺の団体などに呼びかけを行い、多様な連携を図り ながら里山保全活動体験を実施する。

No.	実施箇所	実施体制	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
農1	明治大学 黒川農場 (予定)	担当:農地課他 協力:明治大学 対象:地元農業者			検討		未定										
農2	黒川地域	担当:農地課他 協力:明治大学等 対象:地元農業者	←-----栽培技術の向上に関する研修等----->														
農3	明治大学黒川 農場、地元農 業者の畑	担当:農地課他 協力:JAセレサ川崎、企画課等 対象:市民							イベント ○				イベント ○				
農4	明治大学 黒川農場 他	担当:農地課他 協力:明治大学、JAセレサ川崎他										収穫祭 ○					
地1	—	担当:企画課	←-----ポスター掲示・SNS等による情報発信----->														
地2	—	担当:企画課	←-----HP等による情報発信----->														
地3	黒川地域	担当:企画課、地元農業者、明治大学 協力:農地課、JAセレサ川崎 対象:市民							イベント ○				イベント ○				
地4	黒川・ はるひ野地域	主催:黒川緑地管理協議会他 協力:企画課、みどりの協働推進課他							←-----		美術展 ○						
里1	営農管理倉庫、 黒川地域	担当:みどりの協働推進課 協力:黒川竹行燈の会 対象:地元小学生、保護者							←-----		収穫祭 ○						
里2	黒川よこみね 緑地、他	担当:みどりの協働推進課 協力:黒川緑地管理協議会 対象:市民、黒川周辺企業や団体等										←-----		体験イベント ○			



【参考】年度別取り組みシート<計画と評価>

1. 農産物等研究専門部会用

## 農-〇 取り組み項目タイトル

### 計 画

概要・目的		
実施体制、対象者等		
実施内容	実施予定日	
	実施場所	
	周知・PR	
	内容	
	予算等	
その他		

実施・評価

実施概要	実施日時	
	実施場所	
	参加者数	(募集人数・応募者数)
実施状況 (写真等)		
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)		
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検 討事項)		
その他		

2. 地域活性化検討専門部会用

## 地-〇 取り組み項目タイトル

### 計 画

概要・目的		
実施体制、対象者等		
実施内容	実施予定日	
	実施場所	
	周知・PR	
	内容	
	予算等	
その他		

実施・評価

実施概要	実施日時	
	実施場所	
	参加者数	(募集人数・応募者数)
実施状況 (写真等)		
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)		
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)		
その他		

3. 里地里山保全利活用専門部会用

里-〇 取り組み項目タイトル

計 画

概要・目的		
実施体制、対象者等		
実施内容	実施予定日	
	実施場所	
	周知・PR	
	内容	
	予算等	
その他		

実施・評価

実施概要	実施日時	
	実施場所	
	参加者数	(募集人数・応募者数)
実施状況 (写真等)		
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)		
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)		
その他		

